《ごあいさつ》

このたびは、カワイ　電子ピアノ es1 PERLA(ペルラ) をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
es1 PERLA(ペルラ)の性能をフルに発揮させるとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ず本書をお読みくださいますようお願いいたします。

KAWAI

PERLA

DIGITAL PIANO es1

取扱説明書

●同梱品

☐ es1 PERLA 本体
☐ ACアダプター〈PS-153〉
☐ フットペダル 〈F-1r〉
☐ 譜面立て
☐ 取扱説明書本書）
☐ 保証書
☐ ご愛用者カード
☐ アフターサービスと音楽教室のご案内
☐ 楽譜集のご案内
☐ 楽譜集の払込取扱票

（すべて数量1）

目 次

安全上のご注意 ... 2
準 備 ... 4
1）付属品お確かめください） ... 4
2）es1 PERLAの特長 ... 5
3）各部の名称と働き ... 6
4）演奏前の準備 ... 8
演奏する ... 10
1）音色を選ぶ ... 10
2）2つの音色を重ねる［デュアル］ ... 11
3）効果を加える ... 12
音に残響を加える［リバーブ］ ... 12
音質を切り替える［イコライザー］ ... 13
4）デモ曲を聴く ... 14
5）リラックス曲 （ピアノ曲） を聴く ... 16
6）コンサートマジック ... 18
曲を選ぶ ... 19
演奏する ... 20
聴く ... 20
終了する ... 20
7）タッチカーブを切り替える ... 21
8）キー(調）を変える［トランスポーズ］ ... 22
9）リズム/メトロノームを鳴らす ... 23
テンポを調節する ... 24
拍子を選ぶ ... 25
音量を調節する ... 25
演奏の録音･再生 ... 26
1）録音する ... 26
パート1に録音する ... 27
パート2に録音する ... 28
2）再生する ... 28
パートをミュートする ... 28
3）録音済みのパートを消去する ... 29
すべての曲を消去する ... 29
各種設定[ファンクション］ ... 30
1）設定の種類 ... 30
2）音の明るさを変える ［ブリリアンス］ ... 31
3）音程を微調整する［チューニング］ ... 32
4）音色のニュアンスを変える ［ボイシング］ ... 33
5）ダンパーペダルの共鳴効果を変える
［ダンパーエフェクト］ ... 34
6）ピアノ弦の共鳴効果を変える
［ストリングレゾナンス］ ... 35
7）音律を変える ... 36
8）設定を記憶させる［メモリー･バックアップ］ ... 37
9）MIDI機能を使う ... 38
MIDIについて ... 38
MIDI機能 ... 39
MIDI送受信チャンネルの設定 ... 40
プログラムナンバーを送信する ... 41
ローカルコントロール オン/オフの設定 ... 42
プログラムナンバー送信 オン/オフの設定 ... 43
マルチティンバー･モード オン/オフの設定 ... 45
チャンネルミュートの設定 ... 46
付 録 ... 47
1）外部機器と接続する ... 47
2）Pfunの使い方 ... 49
3）主な仕様 ... 53
4）別売品のご紹介 ... 54
5）故障かな？と思ったら ... 55
お問い合わせ先について ... 55
6）MIDIインプリメンテーションチャート ... 56

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

警告表示と注意表示の意味

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

△記号は危険、警告、注意を示す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

⃠記号は禁止を示す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

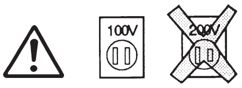
●記号は強制を示す内容があることを告げるものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

電源は、必ずAC100Vを使う

●電圧の異なる電源を使用しない。
●火災や感電の恐れがあります。

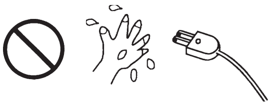
100V以外禁止



水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

濡れた手で触らない



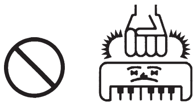
本機を水で濡らさない

●本機に水がかかると、漏電による火災や感電の原因になります。

本機の上に乗ったり、無理な力を加えない

●破損または変形したり、お客様や他の方々がけがをする危険があります。

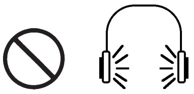
上に乗らない
よりかからない



ヘッドホンを、大音量で長時間使用しない

●聴力低下の原因になる恐れがあります。

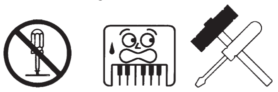
長時間使用禁止



本機を分解、修理、改造しない

●故障、火災、感電、ショートの原因になります。

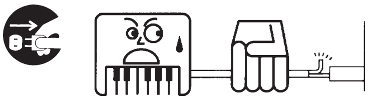
分解禁止



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

プラグ部分を持つ



長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、必ず電源プラグを抜く

●落雷時に火災になる恐れがあります。

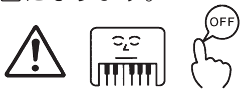
プラグを抜く

⚠注意

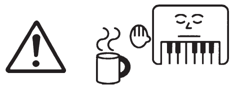
本機を次のような所では使用しない
・窓際など直射日光の当たる場所
・暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
・戸外など極端に温度の高いまたは低い場所
・極端に湿度の高い場所
・砂やホコリの多い場所
・振動の多い場所
・不安定な場所
●故障の原因になります

使用禁止

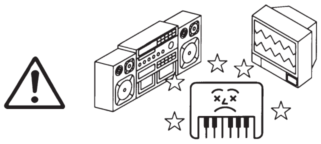
コード類は、各機器の電源を切ってから接続する
●本機や接続機器の故障の原因になります。

電源を切る


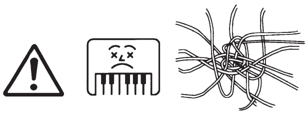
本機の内部に異物を入れないようにする
●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

異物を入れない


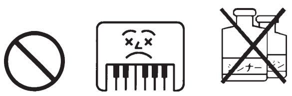
テレビやラジオなどの電気機器の近くに置かない
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用ください。



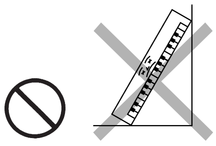
電源コード、接続コード類はからまないように接続する
●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

からまないようにする


ベンジンやシンナーで本機を拭かない
●変色や、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いてください。

ベンジン／シンナー禁止


本機はハンマーアクション鍵盤を搭載しているため、特に次の点に注意してください。
●本機を長期間立てたままにしたり、通常の演奏では考えられない無理な力を鍵盤にかけると、故障の原因になります。



付属のACアダプターは本機専用ですので、特に次の点に注意してください。
●付属のACアダプター以外は使用しないでください。
●付属のACアダプターおよびその電源コード部を他の機器で使用しないでください。

●ヘッドホンを使用したり、音量を下げて演奏すると、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●コンセントの抜き差しが容易にできるように、本機を電源コンセントの近くに設置してください。

●本機の電源スイッチをオフにしていても、コンセントを差し込んだ状態であれば、本機に電源がつながっています。感電にご注意ください。

●運搬の際は、なるべく2人以上で運んでください。

■ 保護シートについて
●パネル上のディスプレイと譜面立てには、あらかじめ保護用シートが貼り付いています。

■ 保証書について
●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行ってください。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入がない場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
●保証書は、本書と共に大切に保管してください。

■ 修理について
●万一異常があるときはすぐに電源スイッチを切り、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのカワイ・テクノ・センター（同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」をご参照ください）までご連絡ください。

準　備

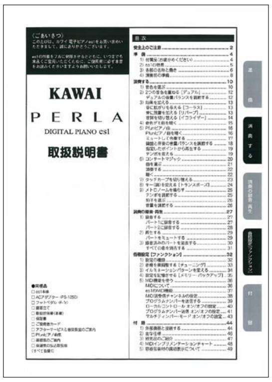
1）付属品（お確かめください）

● ACアダプター〈PS-153〉

● フットペダル〈F-1r〉

● 譜面立て

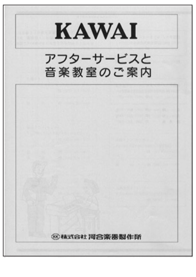
● 取扱説明書（本書）



● 保証書

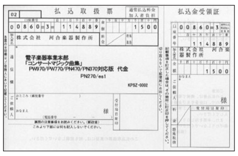
● ご愛用者カード

● アフターサービスと
音楽教室のご案内



● 楽譜集 のご案内

● 楽譜集の払込取扱票



2）es1 PERLA（ペルラ）の特長

本格的なピアノタッチを実現
演奏性を重視した「非対称音域別ハンマーウェイト」を採用することで、手応えが低音側から高音側まで滑らかに変化する演奏性を実現。ばねを一切使わない鍵盤機構で、グランドピアノのタッチ感をリアルに再現する「アドバンスト・ハンマー・アクションⅣ」を搭載しています。

カワイフルコンサートピアノEXの響板や弦の響きを忠実に再現
世界の舞台で認められたフルコンサートピアノEXをサンプリングしたリアルで立体的な音を、いつでも気軽に楽しめます。

厳選された28種類の多彩な音色
グランドピアノ音色をはじめ、オルガンやストリングス、ハープシコードなど28種類の音色を内蔵しており、曲想に合わせて様々な音色をお楽しみいただけます。

ハイクオリティなステレオ方式のサウンド
場所を選ばないコンパクトなボディに、新開発のハイクオリティなスピーカー≪6スピーカー・アレイ・システム≫を搭載しました。臨場感あふれるステレオ方式のサウンドをお楽しみいただけます。

音の世界が広がる多彩なエフェクト
深みのある美しい響きを作り出す5種類のリバーブ、シチュエーションに合わせて音質を選べる3種類のイコライザーが音楽の可能性をより高めます。

心が安らぐリラックス曲
ゆったりとした時間を過ごしたい時に流すBGMとして、クラシック、ニューエイジ、ジャズ、クリスマスのリラックス曲（50曲）を内蔵しています。
お気に入りのジャンルの曲をランダムに再生するなどして楽しむことができます。

カワイ独自のコンサートマジック機能
1つの鍵盤を押していくだけで曲を演奏できるユニークな機能です。初心者の方や小さなお子様まで気軽に音楽をお楽しみいただけます。押すタイミングや強弱により音楽的な表現も可能です。
コンサートマジックの曲は、デモ演奏として鑑賞することもできます。

正確なテンポを刻むリズム/メトロノーム
7種類のメトロノームと100種類のリズムを内蔵しています。レッスンだけでなく、演奏を楽しむためにもお使いいただけます。

伴奏やキーの上げ下げに便利なトランスポーズ機能
弾き方を変えずに、歌いやすいキーに移調したり、他の楽器とのアンサンブルでキーを合わせたりすることが、簡単な操作で行えます。
音程を微調整できるチューニング機能も内蔵しています。

演奏を録音してチェックできるレコーダー
演奏を2パートに分けて。4曲まで録音することができます。左手と右手のパートをそれぞれ別に録音したり、演奏を重ねて一人で連弾を楽しんだり使い方は様々です。

音楽の可能性を広げるMIDI（ミディ）とUSBインターフェース
他のMIDI機器と接続して演奏情報やパネル情報をやりとりできるMIDI端子を装備しています。
また、パソコンとの接続を考慮しUSBインターフェースも装備しています。

本製品で使用しているUSB-MIDI変換ボード「TID10000934」は、USBロゴ認証を取得しております。USBロゴは、USB-IF（USB Implementers Forum Inc.）による、認証テストに合格した製品のみが表示を許されるものです。

3）各部の名称と働き

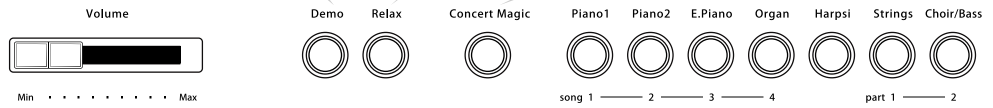
マスターボリューム
Master Volume
内蔵スピーカーやヘッドフォンの音量を調節できます。max（マックス）側にするほど音が大きくなります。
（→9ページ）

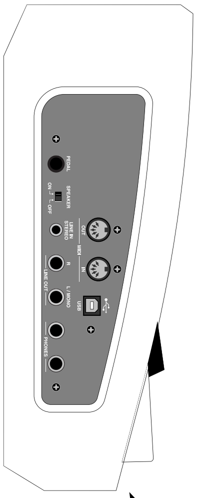
デモ
Demoボタン
内蔵されているデモ曲を演奏させるときに使用します。
（→14ページ）

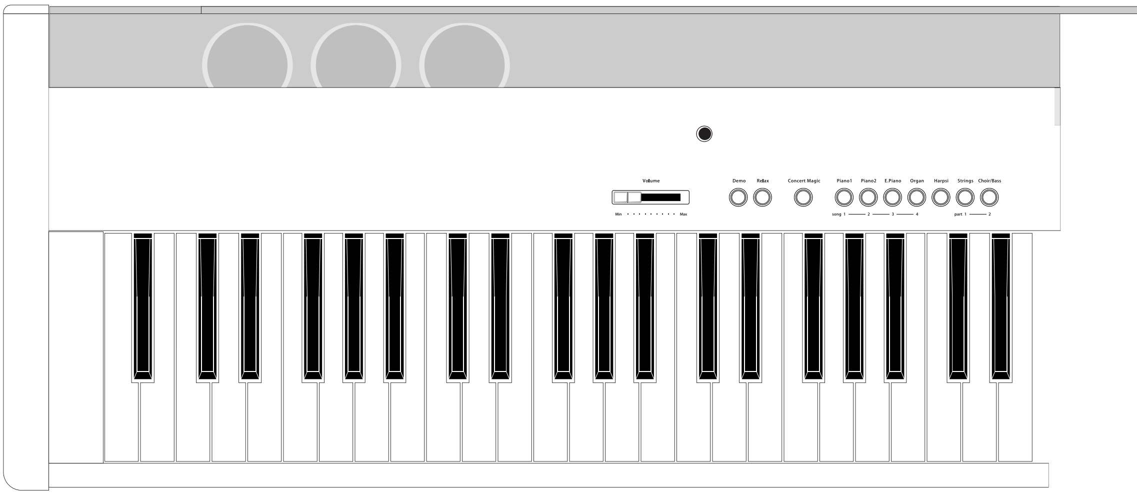
リラックス
Relaxボタン
内蔵されているピアノ曲を演奏させるときに使用します。
（→16ページ）

コンサートマジック
Concert Magicボタン
鍵盤を弾くタイミングと強さに応じて内蔵曲を演奏できます。
（→18ページ）

音色ボタン
音色を選ぶことができます。
2つ同時に押すとデュアル音色になります。
（→10ページ）





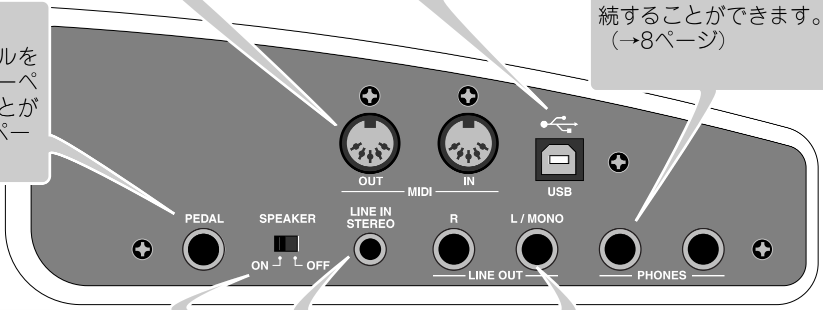


ミディ
MIDI端子
他のMIDI機器と接続して、演奏情報などをやりとりすることができます。
（→38ページ）

ユーエスビー
USB端子
市販のUSBケーブルで、コンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。
（→47ページ）

フォーン
PHONES端子
別売のヘッドホン（SH-2またはSH-5）を2つまで接続することができます。
（→8ページ）

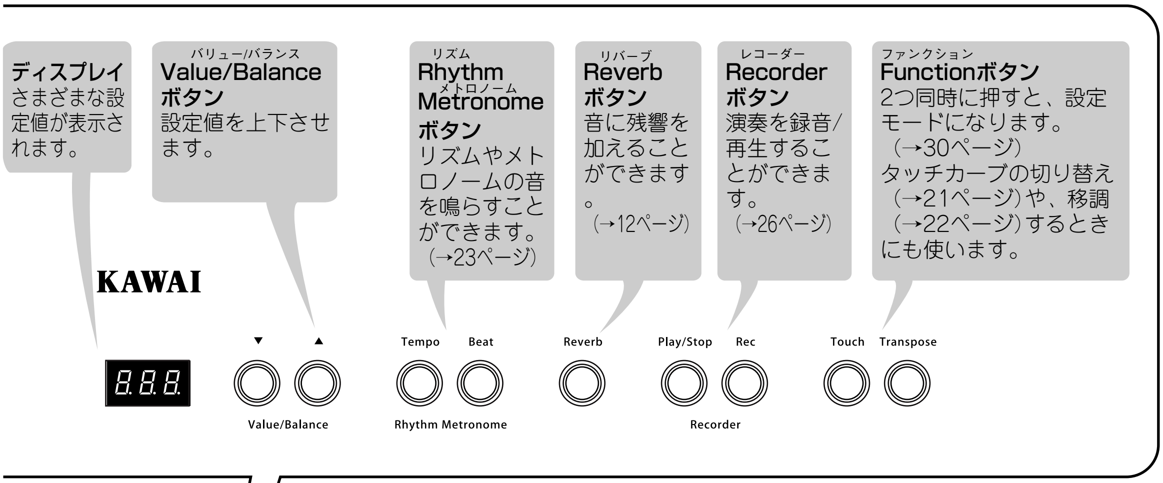
ペダル
PEDAL端子
付属や別売のペダルを接続して、ダンパーペダル効果を得ることができます。（→8ページ）

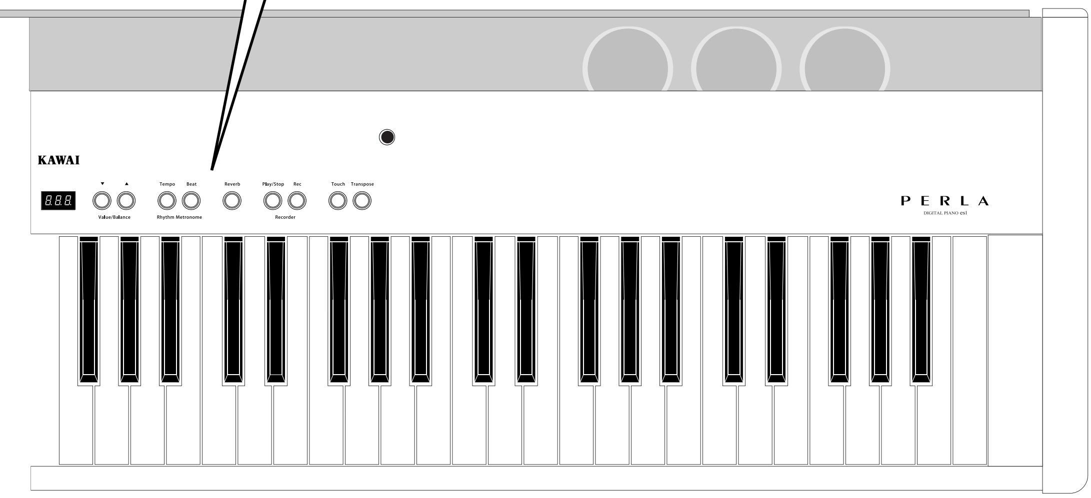


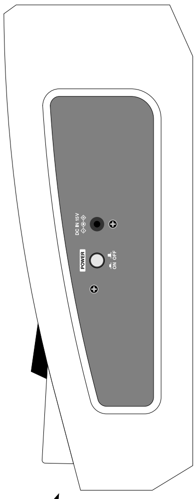
スピーカー
SPEAKERスイッチ
OFF側にすると、スピーカーの音を消すことができます。
（→9ページ）

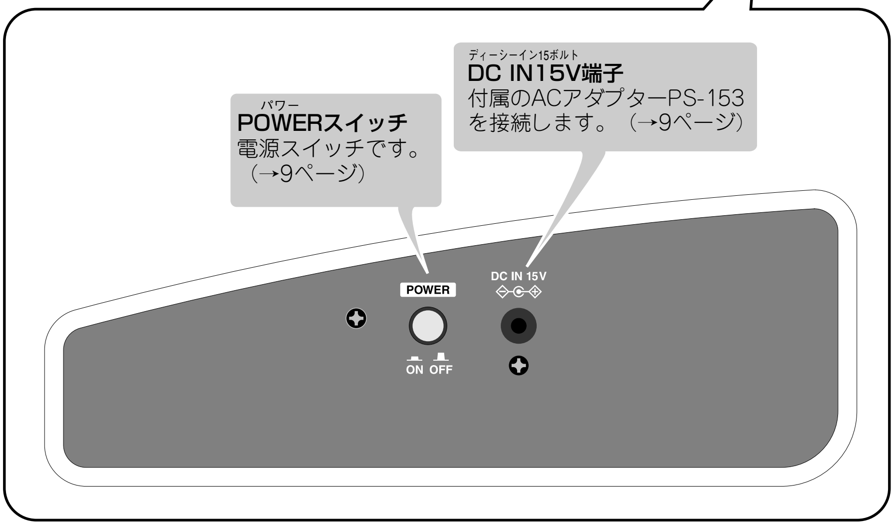
ライン　イン　ステレオ
LINE IN STEREO端子
他の電子楽器やオーディオ機器を接続して、es1のスピーカーで鳴らすことができます。
（→47ページ）

ライン　アウト
LINE OUT端子
オーディオ機器に接続して録音したり、アンプ内蔵スピーカーなどに接続して大きな音で鳴らすことができます。（→47ページ）


ディスプレイ
さまざまな設定値が表示されます。
Value/Balance（バリュー/バランス）ボタン
設定値を上下させます。
Rhythm（リズム） Metronome（メトロノーム）ボタン
リズムやメトロノームの音を鳴らすことができます。（→23ページ）
Reverb（リバーブ）ボタン
音に残響を加えることができます。（→12ページ）
Recorder（レコーダー）ボタン
演奏を録音/再生することができます。（→26ページ）
Functionボタン（ファンクション）
2つ同時に押すと、設定モードになります。（→30ページ）
タッチカーブの切り替え（→21ページ）や、移調（→22ページ）するときにも使います。
KAWAI
▼
▲
Tempo
Beat
Reverb
Play/Stop
Rec
Touch
Transpose
8.8.8.
Value/Balance
Rhythm Metronome
Recorder


KAWAI
PERLA

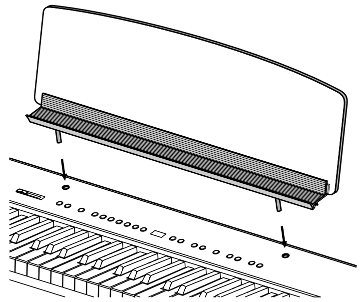



POWERスイッチ（パワー）
電源スイッチです。（→9ページ）
DC IN15V端子（ディーシーイン15ボルト）
付属のACアダプターPS-153を接続します。（→9ページ）
POWER
ON OFF
DC IN 15V

4）演奏前の準備

譜面立てを立てる

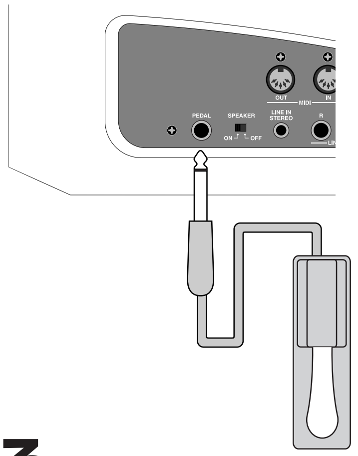
本体上部の穴に差し込みます。



・本体に差し込む時、傷がつかないよう注意してください。
・無理やり譜面立てを引っ張ったり、後ろに押し倒さないで下さい。

フットペダルを接続する

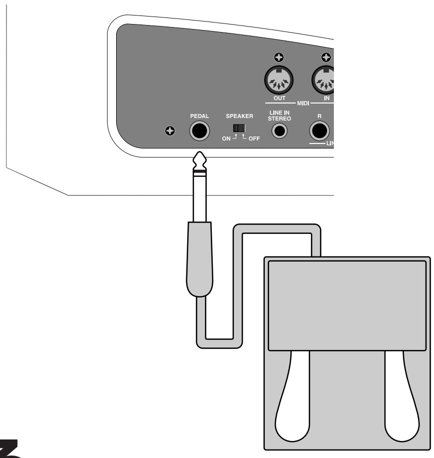
付属のフットペダルF-1rを、PEDAL（ペダル）端子に接続します。
付属のフットペダルはダンパーペダルです。



ダンパーペダルとは
鍵盤から指を離しても、ダンパーペダルを踏んでいる間は弾いた音が長く響きます。

別売のフットペダルを接続する

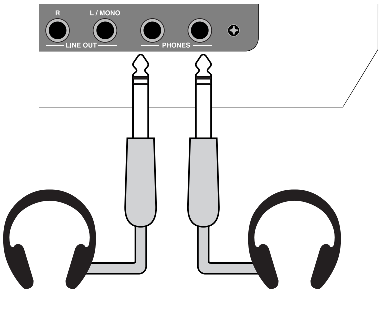
別売のフットペダルF-20をPEDAL（ペダル）端子に接続します。
F-20は、ダンパーペダル（ハーフ対応）とソフトペダルの2本ペダルです



ソフトペダルとは
ソフトペダルを踏んだあとに弾いた音の音量がわずかに下がると同時に、音の響きが柔らかくなります。

別売のヘッドホンを接続する

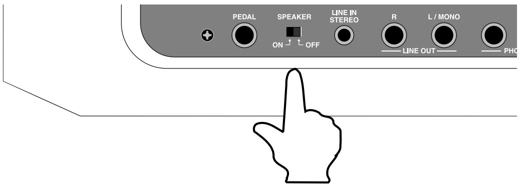
別売のヘッドホン（SH-2またはSH-5）をPHONES（フォーンズ）端子に接続します。
ヘッドホンは2本まで接続できます。



スピーカー出力を入/切する

SPEAKER(スピーカー)スイッチを切り替えます。
ON(オン)側にすると本機のスピーカーから音が出ます。

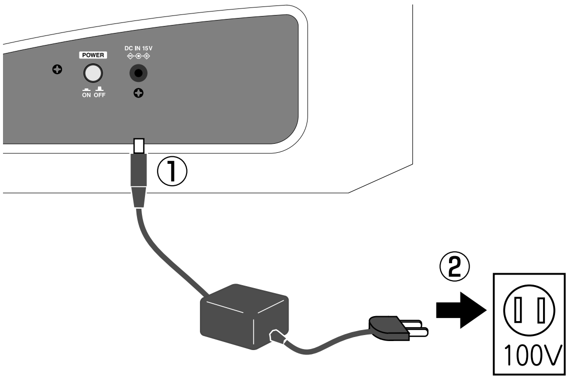
ヘッドホンを接続した場合は、SPEAKERスイッチのON/OFFにかかわらずスピーカーから音は出ません。



音を鳴らす

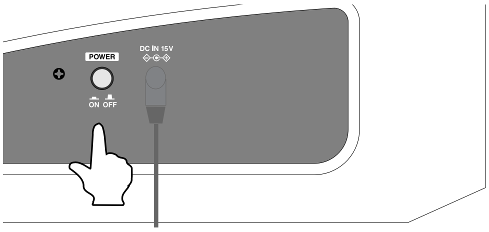
1 AC(エーシー)アダプターの接続

付属のACアダプターPS-153を本体のDC IN15V(ディーシーイン15ボルト)端子に差し込み、次にコンセント(AC100V)に差し込みます。



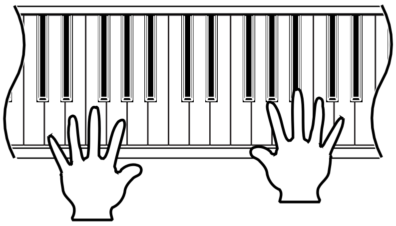
2 電源を入れる

POWER(パワー)スイッチを押します。
音色ボタンが点灯します。



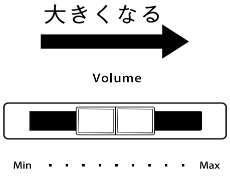
3 音を出す

Master Volume(マスター ボリューム)を中央付近にセットし、鍵盤を弾いてみましょう。
音が出ます。



音量を調節する

Master Volume(マスターボリューム)を左右に動かしてお好みの音量にします。



⚠ 注意

本体裏面にはスピーカーシステム用の開口部があります。テーブルなどに本体を置く場合、この開口部の下に紙や薄い布などがあると異音を発生する場合があります。
又、この開口部をふさぐと、本来の性能が得られなくなりますのでご注意下さい。

演奏する

1）音色を選ぶ

ピアノ音色をはじめとした28種類の音色があります。

音色を選ぶ

7つの音色ボタンに、各4種類ずつ割り当てられています

◇ **内蔵音色**

PIANO1（ピアノ1）
- コンサートグランド1
- メローグランド1
- ピアノストリングス1
- ピアノボイス

PIANO2（ピアノ2）
- コンサートグランド2
- メローグランド2
- ピアノストリングス2
- ピアノブラス

ELECTRIC PIANO（エレクトリックピアノ）
- クラシックエレクトリックピアノ
- モダンエレクトリックピアノ
- 60′sエレクトリックピアノ
- レジェンドエレクトリックピアノ

ORGAN （オルガン）
- ジャズオルガン1
- ジャズオルガン2
- チャーチオルガン1
- チャーチオルガン2

HARPSI （ハープシ）
- ビブラフォン
- ハープシコード
- クラビネット
- マリンバ

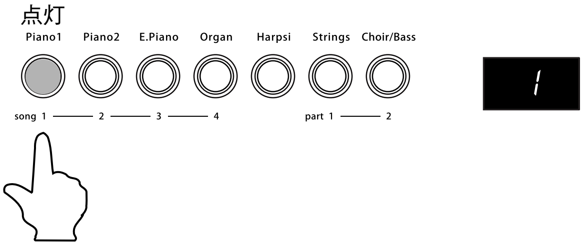
STRINGS（ストリングス）
- ストリングス
- ビューティフルストリングス
- ストリングスパッド
- ウォームストリングス

CHOIR / BASS（クワイア/ベース）
- クワイア
- ニューエイジ
- アコースティックベース
- フィンガーベース

音色ボタンを押す

押された音色のランプが点灯し選択されます。
一つの音色ボタンに4つの音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。その時ディスプレイには音色の番号が表示されます。（約2秒）

例: Piano1を選ぶ



2）2つの音色を重ねる［デュアル］

2つの音色を重ね合わせて、厚みのある音で演奏することができます。

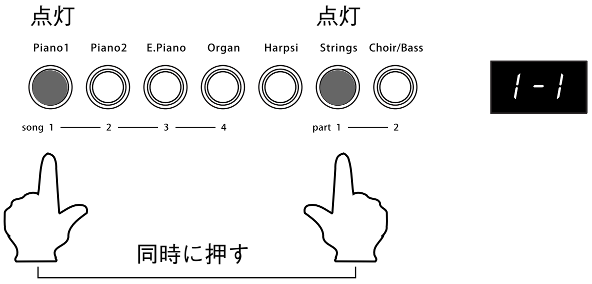
■ 次の2通り（いずれか）の方法で音色を組み合わせることができます。

・各ボタンにあらかじめ音色を割り当てておき、次に2つのボタンを同時に押します。
・組み合わせたい音色のうちの片方をまず選び、その音色ボタンを押しながら、もう一方の音色ボタンを何回か繰り返し押す。
・同一ボタンの音色を組み合わせるには片方を選んだあとその音色ボタンを押しながらValue/Balanceボタンを押してもう一方の音色を選びます。

例：2つのボタンを同時に押す

【コンサートグランド（Pianoボタンの表音色）とストリングス（Stringsボタンの表音色）を組み合わせる】

PianoボタンとStringsボタンを同時に押します。
両方のボタンが点灯します。



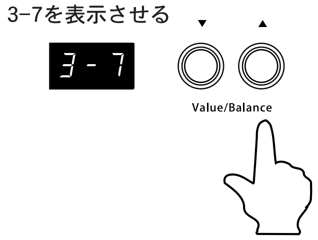
デュアルの音量バランスを調整する

選んだ2つの音色の音量バランスを調節することができます。

音量バランスを設定する

Value / Balanceボタンを押して指定します。
音量バランスが、ディスプレイに表示されます。
・電源を入れた時は「5-5」（左右の音色の音量が等しい）です。

例3-7（コンサートグランドの音量3に対してストリングスの音量7）にする



3）効果を加える

効果（エフェクト）を加えて音の表情を変えることができます。
リバーブ、イコライザーがあります。

音に残響を加える[リバーブ]

リバーブは、音に残響を加えて臨場感を与える効果です。5種類の中から好みのリバーブを選ぶことができます。

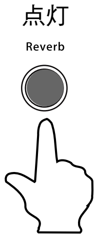
種類	ディスプレイ表示	特徴	残響音
ルーム1,2	ro1,ro2	部屋で弾いているような響きです。 ルーム2の方が長い残響時間が得られます。	短い
ステージ	StG	ステージで弾いているような響きです。	↕
ホール1,2	HA1,HA2	ホールで弾いているような響きです。 ホール2の方が長い残響音が得られます。	長い

1 リバーブをオンにする

Reverb（リバーブ）ボタンを押します。

Reverbボタンが点灯し、リバーブがオンになります。

・再度Reverbボタンを押すと、Reverbボタンが消灯してリバーブが解除されます。

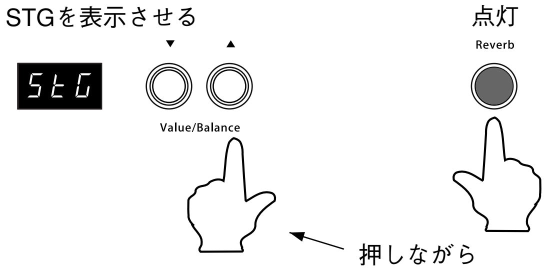


例: ステージを選ぶ

2 リバーブの種類を選ぶ

Reverb（リバーブ）ボタンを押しながら、
Value / Balance（バリュー/バランス）ボタンを押して選びます。

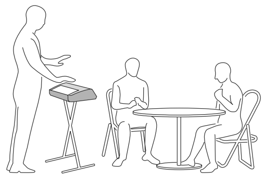
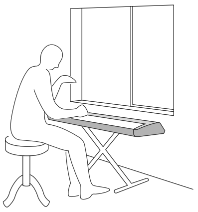
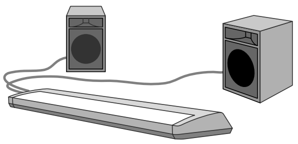
選んだリバーブの種類が、ディスプレイに表示されます。



・メモリー･バックアップ機能（37ページ参照）を使って、リバーブのオン/オフと種類を音色ごとに記憶させておくことができます。

音質を切り替える[イコライザー]

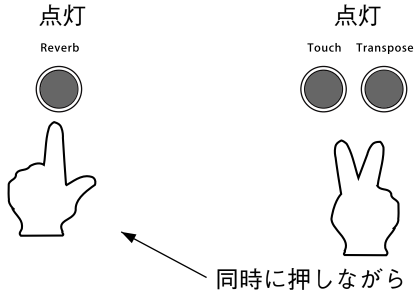
イコライザーは、音質を変える効果です。3種類の中から好みの音質を選ぶことができます。
ヘッドホンの接続も考慮して選択してください。

種　類	モード1	モード2	モード3
ディスプレイ表示	E9←交互→1	E9←交互→2	E9←交互→3
ヘッドホンを接続しない場合	es1を壁から離れた場所に設置するときや、本機の後ろで聴く人がいるときにお薦めします。	壁の近くに設置するときにお薦めします。	LINE OUT(ライン アウト)端子に外部スピーカーやPAを接続して、外部機器側で鳴らすときにお薦めします。
ヘッドホンを接続する場合	通常の場合にお薦めします。最も標準的な音に調整されてます。	ヘッドホンの高音が足りないときにお薦めします。高音強調効果がかかりモード1、3よりクリアな音になります。	モード1のヘッドホンと同じ音質です。

1 イコライザーの設定準備

Touch(タッチ)ボタンとTranspose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、Reverb(リバーブ)ボタンを押します。

FunctionボタンとReverbボタンが点灯し、イコライザーの設定が可能になります。



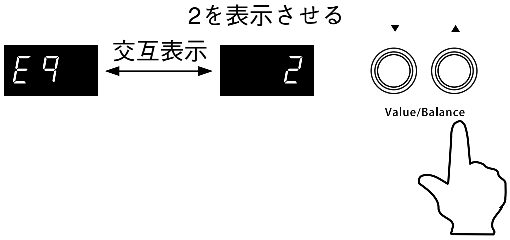
2 イコライザーの種類を選ぶ

Value/Balance(バリュー/バランス)ボタンを押して選びます。

選んだイコライザーの種類がディスプレイに表示されます。

Functionボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定状態から抜けます。

例: モード2を選ぶ



- 工場出荷時の設定はモード1です。
- メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。
- イコライザーの設定は、全音色に共通です。

4)デモ曲を聴く

ポップスやジャズ、クラシックなど幅広い音楽ジャンルでPERLA(ペルラ)サウンドのすばらしさを紹介するメインデモ曲(37曲)やそれぞれの音色をボタン毎に紹介した音色デモ曲(24曲)を内蔵しています。

メインデモ曲

曲番号	曲名	作曲家
	メインデモ曲～ポップス/ジャズ(8曲)	
P01	眠れぬ夜は君のせい	松原憲
P02	月のしずく	松本良喜
P03	瞳をとじて	平井堅
P04	卒業写真	荒井由美
P05	CLEA	Lisa Ono
P06	Satin Doll	Duke Ellington/Billy Strayhorn
P07	Jazz Fusion	カワイオリジナル
P08	Rhapsody in Blue	George Gershwin
	メインデモ曲～クラシック(29曲)	
C01	タンブラン Tambourin	J.P.Pameau
C02	調子のよいかじ屋 The harmonious blacksmith	G.F.Händel
C03	メヌエット　ト長調 Menuett BWV.Anh.114	J.S.Bach
C04	メヌエット　ト長調 Menuett BWV.Anh.115	J.S.Bach
C05	メヌエット　ト長調 Menuett BWV.Anh.116	J.S.Bach
C06	かっこう Le Coucou	L.C.Daquin
C07	ガヴォット Gavotte	F.J.Gossec
C08	メヌエット Menuett	L.Boccherini
C09	主題と変奏"ピアノソナタ第11番K.331より第1楽章" Thema und	W.A.Mozart
C10	トルコ行進曲"ピアノソナタ第11番K.331より第3楽章" Türkischer Marsch	W.A.Mozart
C11	メヌエット Menuet	W.A.Mozart
C12	ピアノ・ソナタ「月光」より第1楽章 Sonate für Klavier №14 "Mondschein"	L.vBeethoven
C13	ピアノ・ソナタ「悲愴」より第2楽章 Sonate für Klavier №8 "Pathétique"	L.v.Beethoven
C14	エリーゼのために Für Elise	L.v.Beethoven
C15	ロンド・ファヴォリ Rondo favori	J.N.Hummel
C16	即興曲　作品90の 4 Impromptu op.90-4	F.P.Schubert
C17	楽興の詩　作品94の 3 Moments musicaux op.94-3	F.P.Schubert
C18	間奏曲 Entr'acte	F.P.Schubert
C19	即興曲　作品142の 3 Impromptu op.142-3	F.P.Schubert
C20	歌の翼に Auf Flügeln des Gesanges	F.Mendelssohn
C21	春の歌 Frühlingslied	F.Mendelssohn
C22	ロンド・カプリッチョーソ Rondo Capriccioso	F.Mendelssohn
C23	別れの曲 Chanson de l'adieu	F.F.Chopin
C24	雨だれの前奏曲 Raindrop	F.F.Chopin
C25	子犬のワルツ Petit chien	F.F.Chopin
C26	ノクターン第2番 Nocturne №2	F.F.Chopin
C27	幻想即興曲 Fantaisie-Impromptu	F.F.Chopin
C28	軍隊ポロネーズ Polonaise №3 "Militaire"	F.F.Chopin
C29	英雄ポロネーズ Polonaise №6 "Héroïque"	F.F.Chopin

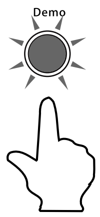
音色デモ曲

音色デモ	音色	曲名	作曲者
Piano1	コンサートグランド1	ラ・カンパネラ	リスト
	メローグランド1	亜麻色の髪の乙女	ドビュッシー
	ピアノストリングス1	カワイオリジナル	
	ピアノボイス	カワイオリジナル	
Piano2	コンサートグランド2	カワイオリジナル	
	ピアノストリングス2	カワイオリジナル	
	ピアノブラス	カワイオリジナル	
E.Piano	クラシックエレクトリックピアノ	カワイオリジナル	
	モダンエレクトリックピアノ	カワイオリジナル	
	レジェンドエレクトリックピアノ	カワイオリジナル	
Organ	ジャズオルガン1	カワイオリジナル	
	ジャズオルガン2	カワイオリジナル	
	チャーチオルガン1	トッカータ	ジグー
	チャーチオルガン2	主よ人の望みよ喜びよ	バッハ
Harpsi	ビブラフォン	カワイオリジナル	
	ハープシコード	フランス組曲第6番	バッハ
	クラビネット	カワイオリジナル	
Strings	ストリングス	四季"春"	ヴィヴァルディ
	ビューティフルストリングス	カワイオリジナル	
	ストリングスパッド	カワイオリジナル	
Choir/Bass	クワイア	カワイオリジナル	
	ニューエイジ	カワイオリジナル	
	アコースティックベース	カワイオリジナル	
	フィンガーベース	カワイオリジナル	

1 デモ曲の再生

Demoボタンを押します。

Demoボタンが点滅し、曲番号の順にメインデモが再生されます。



2 メインデモ曲を選曲する

メインデモが再生されているときに
VALUEボタンを押して選びます。

・ディスプレイには選んだ曲の曲番号が表示されます。

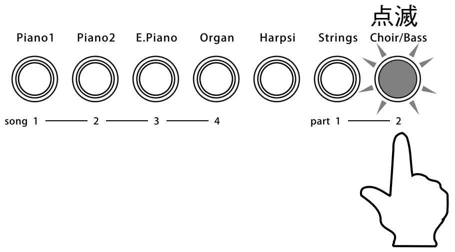
3 音色デモ曲を選ぶ

メインデモ曲が終わると音色デモが再生されます。メインデモの途中でも音色ボタンを押すとその音色のデモに移ります。

選んだボタンが点滅して、デモ曲が再生されます。

・押した音色ボタンに含まれる曲が再生された後、他の音色のデモ曲が順不同に再生されます。

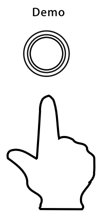
例: ニューエイジの曲を選ぶ



4 デモ曲の停止

Demoボタンを押します。

Demoボタンが消灯し、デモ曲が止まります。



5）リラックス曲(ピアノ曲)を聴く

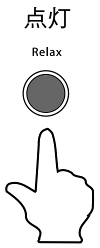
ゆったりとした時間を過ごしたい時に流すBGM（バック・グランド・ミュージック）として、クラシック、ニューエイジ、ジャズ、クリスマスのリラックス曲（50曲）を内蔵しています。

曲番号	音楽ジャンル	曲名	作曲者
	クラシック（20曲）		
C01		アリア　ニ長調 Air D dur, BWV.1068	J.S.Bach
C02		フランス組曲第1番　ニ短調 French Suite No.1 ”ALLEMANDE”	J.S.Bach
C03		フランス組曲第3番　ロ短調 French Suite No.3 ”ALLEMANDE”	J.S.Bach
C04		ピアノソナタ第5番K.283　第2楽章 Sonata in G Major, K.283 2nd Mov.	W.A.Mozart
C05		ノクターン第10番　ホ短調 Nocturne No.10 in E Minor	J.Field
C06		アベ・マリア Ave Maria, D.839	F.P.Schubert
C07		甘い思い出“無言歌集第1集より第1曲　ホ長調” Lieder ohne Worte Heft 1 in E dur, op.19 ”SWEET REMEMBRANCE”	F.Mendelssohn
C08		無言歌集第8集　第46曲　ト短調 Lieder ohne Worte Heft 8 in g moll , op.102	F.Mendelssohn
C09		ショパン Chopin	R.Schumann
C10		夕べに“幻想小曲集より” Fantasiestücke op.12 ”DES ABENDS”	R.Schumann
C11		おねだり（おねだりする子供）“子供の情景より” Kinderszennen op.15 ”BITTENDES KIND”	R.Schumann
C12		トロイメライ　“子供の情景より” Kinderszennen op.15 ”TRÄUMEREI”	R.Schumann
C13		知らない国々（異国から）“子供の情景より” Kinderszennen op.15 ”VON FREMDEN LÄNDERN UND MENSCHEN”	R.Schumann
C14		むきになって（生真面目）“子供の情景より” Kinderszennen op.15 ”FAST ZU ERNST”	R.Schumann
C15		コンソレーション第３曲　変ニ長調 Consolations No.3	F.Liszt
C16		6つのピアノ曲集　第２曲インテルメッゾ　イ長調 Klavierstücke ,op.118 No.2 ”INTERMEZZO in A Major”	J.Brahms
C17		ワルツ曲集　第15曲　変イ長調 Walzer, op.39 ”Valse As dur”	J.Brahms
C18		エレジー“幻想的小品集より” Moreceaux de Fantasie in E flat Minor, op.3 №1 ”ELEGIE”	S.V.Rachmaninov
C19		3つの無言歌集　第３曲　変イ長調 3 Romances Sana Paroles №3 in A flat Major, op.17	G.Fauré
C20		夢 Rêverie	C.A.Debussy
	ニューエイジミュージック（15曲）		
n01		Autumn Morn	カワイオリジナル
n02		Reflections	カワイオリジナル
n03		Morning Mist	カワイオリジナル
n04		Icicles	カワイオリジナル
n05		Signs of Fall	カワイオリジナル
n06		Twilight	カワイオリジナル
n07		Daydream	カワイオリジナル
n08		Friends	カワイオリジナル
n09		Faded Photos	カワイオリジナル
n10		Lullaby	カワイオリジナル
n11		Going Home	カワイオリジナル
n12		Questions	カワイオリジナル
n13		Romantic Story	カワイオリジナル
n14		Pleasant Surprise	カワイオリジナル
n15		Long Goodbye	カワイオリジナル
	ジャズ（7曲）		
J01		It Could Happen To You	Jimmy Van Husen
J02		I Should Care	Sammy Cahn, Axel Stordahl
J03		クリフォードの思い出 I Remember Clifford	Benny Golson
J04		パリの四月 April in Paris	Vernon Duke
J05		君は我がすべて All The Things You Are	Jerome Kern
J06		Everything Happens to Me	Matt Dennis
J07		’Round Midnight	Thelonious Monk, Cootie Williams
	クリスマスの曲（8曲）		
H01		きよしこの夜 Silent Night	Franz Gruber
H02		ああベツレヘムよ O Little Town of Bethlehem	Lewis Henry Render
H03		天にはさかえ Hark! the Herald Angels Sing	Felix Mendelssohn
H04		陽気な聖ニコラスさん Jolly Old St. Nicholas	作者不明
H05		もみの木 O Christmas Tree	ドイツ民謡
H06		クリスマスおめでとう We Wish You A Merry Christmas	イギリス民謡
H07		天なる神には It Came Upon a Midnight Clear	Richard Storrs Willis
H08		グリーンスリーブス Greensleeves（What Child Is This?）	イギリス民謡

1 リラックス曲の再生

Relax（リラックス）ボタンを押します。

Relaxボタンが点灯し、曲番号の順に再生されます。



2 選曲する

Value（バリュー）ボタンを押して選曲します。

押すたびに音楽ジャンルがかわり
各音楽ジャンルの先頭の曲が選ばれます。

1曲ずつ変更したい場合はRelax
ボタンを押しながらValueボタン
を押して変更します。

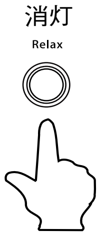
1曲ずつ変更したい場合

・好きな音楽ジャンルだけをランダムに再生することができます。
再生したい音楽ジャンルを　選んだ後
Concert Magic（コンサートマジック）を押します。
Concert Magic（コンサートマジック）のボタンが点灯し同一ジャンル内の曲がランダムに再生されるようになります。
ランダム再生をやめるにはもう一度
Concert Magic（コンサートマジック）を押します。
Concert Magic（コンサートマジック）が消灯し曲番号の
順に再生されるようになります。

3 リラックス曲の再生停止

Relax（リラックス）ボタンを押します。

Relaxボタンが消灯し、曲が止まります。



6）コンサートマジック

コンサートマジックとは、初心者や小さなお子様でも気軽に音楽を楽しんでいただけるように、指一本で本格的なピアノ演奏を可能にする画期的な機能です。指揮者になった気分でピアノの鍵盤を押してみましょう。演奏のテンポや強弱は、鍵盤を押すタイミングや強さで自由自在に変えることができるので、簡単でありながら音楽的な表現を可能にする、とても楽しい機能です。

・コンサートマジック用の曲は88曲内蔵されており、次ページの図のように各鍵盤に1曲ずつ割り当てられています。
・本機に内蔵されているコンサートマジック曲全曲を掲載した「コンサートマジック曲集Vol. 2」を、別売品としてご用意しております。詳しくは同梱の「楽譜集のご案内」をご覧いただき、お申し込みは同梱の「払込取扱表」をご利用ください。コンサートマジックの魅力的な世界が一層拡がります。

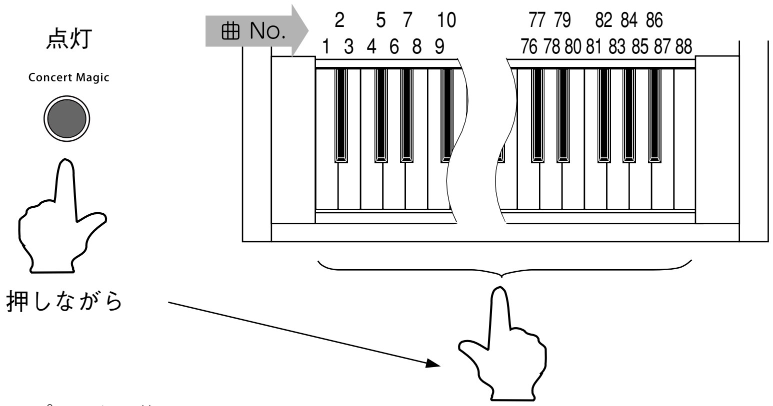
◇ コンサートマジック曲目

【カテゴリー】	【曲名】	【作曲者】
子供の曲（27曲）		
1	きらきら星	フランス民謡
2	ロンドン橋	イギリス民謡
3	ふるさと	岡野貞一
4	山の音楽家	ドイツ民謡
5	もみじ	岡野貞一
6	ゆき	文部省唱歌
7	七つの子	本居長世
8	10人のインディアン	アメリカ民謡
9	さくらさくら	日本古謡
10	わらの中の七面鳥	アメリカ民謡
11	ひらいたひらいた	わらべうた
12	かくれんぼ	下総皖一
13	虫のこえ	文部省唱歌
14	アイアイ	宇野誠一郎
15	うみ	井上武士
16	おもちゃのチャチャチャ	越部信義
17	かたつむり	文部省唱歌
18	春がきた	岡野貞一
19	もりのくまさん	アメリカ民謡
20	夕やけこやけ	草川信
21	ドレミの歌	O.ハマースタイン、R. ロジャース
22	北風こぞうの寒太郎	福田和禾子
23	ぶんぶんぶん	ボヘミア民謡
24	ゆかいな牧場	アメリカ民謡
25	パフ	P.ヤーロウ、L.リプトン
26	河はよんでいる	G.ベアール
27	こいぬのマーチ	外国曲
ディズニー/アニメ/スクリーン（13曲）		
28	狼なんか怖くない	F.チャーチル
29	チムチムチェリー	シャーマン兄弟
30	ハイホー	F.チャーチル
31	ビビディバビディブー	マークデビッド他２名
32	星に願いを	L.ハーライン
33	小さな世界	シャーマン兄弟
34	ミッキーマウスマーチ	J.ドッド
35	さんぽ	久石譲
36	エーデルワイス	O.ハマースタイン、R. ロジャース
37	チキチキバンバン	シャーマン兄弟
38	虹の彼方に	H.アーレン
39	となりのトトロ	久石譲
40	サザエさん	筒美京平
アメリカのクラシック音楽（9曲）		
41	聖者の行進	アメリカ民謡
42	おじいさんの古時計	アメリカ民謡
43	リパブリック賛歌	アメリカ民謡
44	アルプス一万尺	アメリカ民謡
45	ロンドンデリーの歌	アイルランド民謡
46	ケンタッキーの我が家	フォスター
47	故郷の人々	フォスター
48	草競馬	フォスター
49	線路は続くよどこまでも	アメリカ民謡

【カテゴリー】	【曲名】	【作曲者】
クラシック(31曲)		
50	喜びの歌	ベートーベン
51	ウィリアムテル序曲	ロッシーニ
52	天国と地獄	オッフェンバック
53	新世界より家路	ドボルザーク
54	エンターティナー	ジョプリン
55	メヌエット　ト長調	バッハ
56	花のワルツ	チャイコフスキー
57	スケーターズ ワルツ	ワルトトイフェル
58	美しく青きドナウ	ヨハン･シュトラウス
59	闘牛士の歌	ビゼー
60	ピチカート ポルカ	ヨハン･シュトラウス
61	ブラームスの子守歌	ブラームス
62	ワシントンポストマーチ	J.P.スーザ
63	アメリカン パトロール	ミーチャム
64	眠りの森の美女	チャイコフスキー
65	ガボット	ゴセック
66	軍隊行進曲	シューベルト
67	ジムノペディ　1番	サティ
68	プレリュード　イ長調	ショパン
69	皇帝円舞曲	ヨハン･シュトラウス
70	メープル リーフ ラグ	ジョプリン
71	双頭のわしの旗のもとに	ワグナー
72	びっくりシンフォニー	ハイドン
73	凱旋行進曲	ヴェルディ
74	エリーゼのために	ベートーベン
75	アヴェマリア	シューベルト
76	ハバネラ	ビゼー
77	ジプシーの歌	ビゼー
78	未完成交響曲	シューベルト
79	結婚行進曲	メンデルスゾーン
80	婚礼の合唱	ワーグナー
クリスマスの曲(4曲)		
81	おめでとうクリスマス	イギリス民謡
82	ジングルベル	ピアポント
83	もろ人こぞりて	讃美歌
84	きよしこの夜	グルーバー
世界の民謡(4曲)		
85	フニクリフニクラ	デンツァ
86	こぎつね	ドイツ民謡
87	アニーローリー	スコットランド民謡
88	サンタルチア	ナポリ民謡

曲を選ぶ

Concert Magic（コンサートマジック）ボタンを押しながら、鍵盤を押して曲を選びます。



Concert Magicボタンが点灯してディスプレイに曲ナンバーが表示され、コンサートマジック演奏の準備ができたことを示します。

演奏する

演奏の開始

前記の方法で曲を選んだ後、鍵盤を弾きます。

弾く鍵盤はどの鍵盤でもかまいません。好みのテンポで鍵盤を弾くと、そのタイミングで曲が進んでいきます。

- 好みの音色を選んで演奏できます（10ページ参照）。
- Value/Balance ボタンで曲目を変更することができます。

聴く

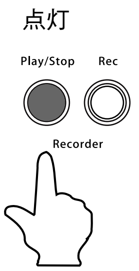
コンサートマジックの曲は、デモ曲として通常の再生を行うこともできます。どんな曲なのかまず聴いてみたいときに便利です。

再生の開始

前ページの方法で曲を選んだ後、
プレイ/ストップ
Play/Stopボタンを押します。

Play/Stopボタンがに点灯し、再生が始まります。

- 選択した曲が終わると、次のNo.の曲が続けて再生されます。No. 88の曲まで再生された後は、No.1から順番に繰り返し再生されます。再生を止める場合は、Play/Stopボタンを押します。
- Value/ Balanceボタンで曲目を変更することができます。
- Metronomeボタンを押しながら、Valueボタンを押してテンポを調節できます。

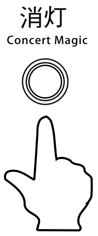


終了する

コンサートマジックの終了

コンサートマジック
Concert Magicボタンを押します。

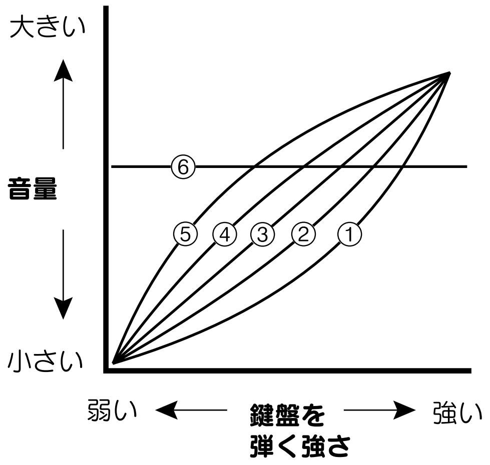
Concert Magicボタンが消灯し、コンサートマジックが終了して通常の状態に戻ります。



7）タッチカーブを切り替える

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。タッチカーブとは、鍵盤を弾く強さと音量の関係を表したカーブです。本機では6種類のタッチカーブを装備しており、好みに合わせたタッチカーブに切り替えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	特徴
①ヘビー2	HE2	指の力が強い人や練習向きのタッチカーブです。
②ヘビー1	HE 1	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。
③ノーマル	ー	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。
④ライト1	Lt 1	小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きです。
⑤ライト2	Lt2	弱いタッチで弾いても大きな音が出ます。
⑥オフ	oFF	弾く強さに関係なく一定の音量で鳴ります。



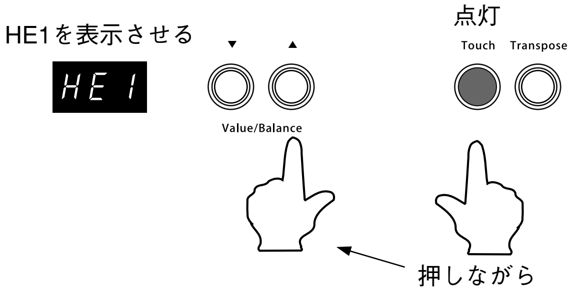
・③ノーマルはTouchボタンが消灯しているときのカーブです。Touchボタンを消灯させると、いつでもノーマルに戻ります。
・タッチカーブの切り替え機能は、Touchボタンを点灯させたときのカーブを選ぶ機能です。工場出荷時の設定は④ライト1です。
・メモリー・バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

タッチカーブを切り替える

Touch（タッチ）ボタンを押しながら、Value/Balance（バリュー/バランス）ボタンを押して選びます。

電源を切るまでは、Touchボタンを点灯させると、ここで指定したカーブが選ばれます。

例: ②ヘビー1を選ぶ



8) キー(調)を変える[トランスポーズ]

弾く鍵盤を変えずに、調の異なる楽器とアンサンブル演奏をしたり、歌う人の声の高さにキー(調)を合わせることができます。
移調(トランスポーズ)する値は半音単位、上下1オクターブずつ(-12〜+12)の範囲で設定できます。
たとえば移調する値を「+5」に設定すると、「ド」を弾いたときに「ファ」の音が出ることになり、「ハ長調」で弾いても「ヘ長調」の曲になります。

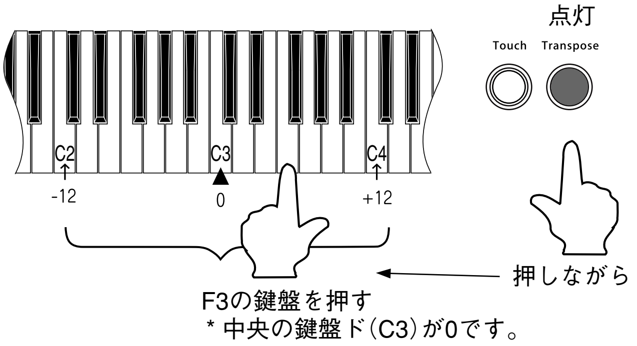
移調する値を設定する

Transpose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、C2〜C4の鍵盤を押して指定します。
または、Transpose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、Value/Balance(バリュー／バランス)ボタンを押して指定します。
移調する値がディスプレイに表示され、移調がオンになります。

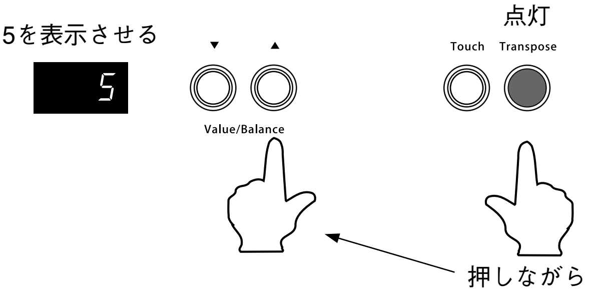
- Transposeボタンを点灯させたときに、移調がオンされます。
- Transposeボタンを押すたびに、移調がオン/オフされます。
- 移調する値を0に指定したときは、Transposeボタンは点灯しません。

- 工場出荷時の設定値は0です。
- メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

例: 移調する値を+5にする



または



9）リズム/メトロノームを鳴らす

本機は正確なテンポを刻むリズム/メトロノームを内蔵しています。曲にマッチするリズムを加えて演奏を楽しんだり、メトロノームを鳴らして練習することができます。

メトロノーム

	ディスプレイ表示	拍子	ディスプレイ表示	拍子
メトロノーム	1 - 4	1拍子	5 - 4	5/4拍子
	2 - 4	2/4拍子	3 - 8	3/8拍子
	3 - 4	3/4拍子	6 - 8	6/8拍子
	4 - 4	4/4拍子		

リ ズ ム

ディスプレイ表示	リズム名	ディスプレイ表示	リズム名
r-1	8 ビート 1	r51	ヒップ ホップ 3
r-2	8 ビート 2	r52	ヒップ ホップ 4
r-3	8 ビート 3	r53	テクノ 1
r-4	16 ビート 1	r54	テクノ 2
r-5	16 ビート 2	r55	テクノ 3
r-6	16 ビート 3	r56	ヘヴィ テクノ
r-7	16 ビート 4	r57	8シャッフル 1
r-8	16 ビート 5	r58	8シャッフル 2
r-9	16 ビート 6	r59	8シャッフル 3
r10	ロック ビート 1	r60	ブギ
r11	ロック ビート 2	r61	16 シャッフル 1
r12	ロック ビート 3	r62	16 シャッフル 2
r13	ハード ロック	r63	16 シャッフル 3
r14	ヘヴィ ビート	r64	T シャッフル
r15	サーフ ロック	r65	トリプレット 1
r16	2nd ライン	r66	トリプレット 2
r17	50 ウェイズ	r67	トリプレット 3
r18	バラード 1	r68	トリプレット 4
r19	バラード 2	r69	トリプレット バラード 1
r20	バラード 3	r70	トリプレット バラード 2
r21	バラード 4	r71	トリプレット バラード 3
r22	バラード 5	r72	モータウン 1
r23	ライト ライド 1	r73	モータウン 2
r24	ライト ライド 2	r74	ライド スウィング
r25	スムース ビート	r75	H. H. スウィング
r26	リム ビート	r76	ジャズ ワルツ 1
r27	スロー ジャム	r77	ジャズ ワルツ 2
r28	ポップ 1	r78	5／4 スウィング
r29	ポップ 2	r79	タム スウィング
r30	エレクトロ ポップ 1	r80	ファースト 4 ビート
r31	エレクトロ ポップ 2	r81	H. H. ボサノバ
r32	ライド ビート 1	r82	ライド ボサノバ
r33	ライド ビート 2	r83	ビギン
r34	ライド ビート 3	r84	マンボ
r35	ライド ビート 4	r85	チャ チャ
r36	スリップ ビート	r86	サンバ
r37	ジャズ ロック	r87	ライト サンバ
r38	ファンキー ビート 1	r88	スルド サンバ
r39	ファンキー ビート 2	r89	ラテン グルーブ
r40	ファンキー ビート 3	r90	アフロ キューバン
r41	ファンキー 1	r91	ソンゴ
r42	ファンキー 2	r92	ベンベ
r43	ファンキー 3	r93	アフリカン ベンベ
r44	ファンク シャッフル 1	r94	メレンゲ
r45	ファンク シャッフル 2	r95	レゲエ
r46	バズ ビート	r96	タンゴ
r47	ディスコ 1	r97	ハバネラ
r48	ディスコ 2	r98	ワルツ
r49	ヒップ ホップ 1	r99	ラグタイム
r50	ヒップ ホップ 2	r00	カントリー＆ウエスタン

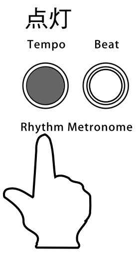
テンポを調節する

リズム/メトロノームのテンポ(1分間の拍数)を、30～300の範囲で調節することができます。

1 リズム/メトロノームを鳴らす

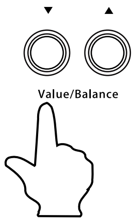
テンポ
Tempoボタンを押します。

Tempoボタンが点灯し、リズムまたはメトロノームが鳴り出します。
テンポがディスプレイに表示されます。



2 テンポを調節する

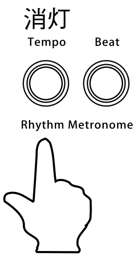
バリュー／バランス
Value/ Balanceボタンを押して調節します。



3 リズム/メトロノームを止める

テンポ
Tempoボタンを押します。

Tempoボタンが消灯し、リズムまたはメトロノームが止まります。



・工場出荷時の設定値は100です。
・メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

拍子を選ぶ

1 Beatボタンを押します

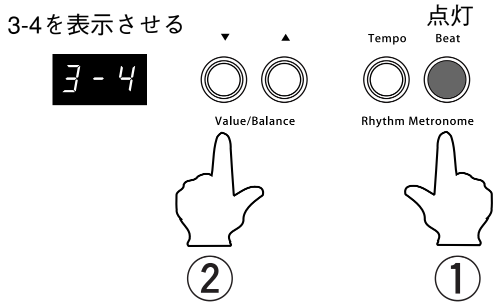
Beatボタンを押します。
Beatボタンが点灯し拍子またはリズム番号がディスプレイに表示されます。

2 Valueボタンを押して選びます

拍子は1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8が選べます。
リズムは100パターンから選べます。
（23ページ参照）

再度Beatボタンを押すとBeatボタンが消灯しリズムまたはメトロノームが止まります。

例: 3/4拍子のメトロノームを選ぶ



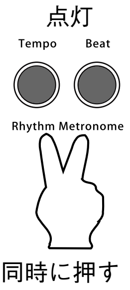
- 工場出荷時の設定は4/4です。
- メモリー・バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

音量を調節する

リズム/メトロノームの音量を、1～10の範囲で調節することができます。

1 音量設定の準備

TempoとBeatボタンを同時に押します。
TempoボタンとBeatボタンが点灯し、音量設定が可能になります。

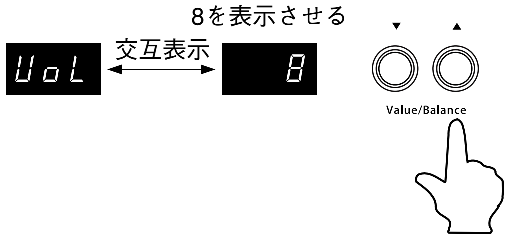


2 音量を調節する

Valueボタンを押して調節します。
音量がディスプレイに表示されます。

Tempoボタン、Beatボタンを同時に押すと、設定状態から抜けます。

例: 8にする



- 工場出荷時の設定値は5です。
- メモリー・バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

演奏の録音・再生

1）録音する

本機に演奏を4曲まで録音することができます。自分の演奏を録音しあとでじっくり聴いたり、指導者の方にお手本に録音してもらうなど、使い方は様々です。各曲とも2パートに分けて録音できるため、左手パートを先に録音しておき、再生しながら右手パートを録音することができます。また、連弾曲やアンサンブルの曲を1パートずつ録音して完成させることもできます。

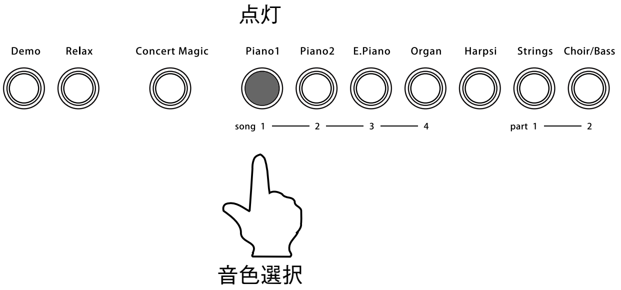
パート1に録音する

1　録音に使う音色を選ぶ

音色ボタンを押して指定します。

録音を行うと、音色の選択も記録されます。

例: コンサートグランドの音色を選ぶ



2　録音先を指定する

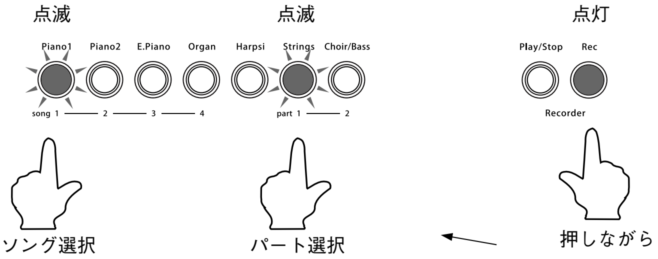
Rec（レック）ボタンを押しながら、録音するSong（ソング）とPart（パート） 1のボタンを順に押します。

Recボタンを押している間、指定したSongとPart 1のボタンは点滅します。

Recボタンを離すと、選んだSongとPart 1のボタンが消灯、Recボタンが点滅し、録音待機状態になります。

・録音を中止する場合は、Recボタンを押してRecボタンを消灯させます。

例: ソング1のパート1を選ぶ

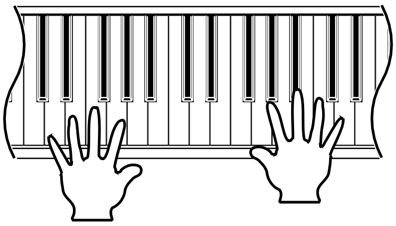


3　録音を開始する

演奏を始めます。

RecボタンとPlay/Stopボタンが点灯して、自動的に録音が始まります。

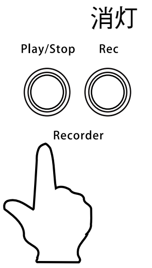
・Play/Stopボタンを押して録音を開始することもできます。



4　録音を終了する

Play/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。

RecボタンとPlay/Stopボタンが消灯して、録音が終了します。



・演奏を失敗した場合など録音し直す場合は、上記の1〜4の手順で再度行ってください。

パート2に録音する

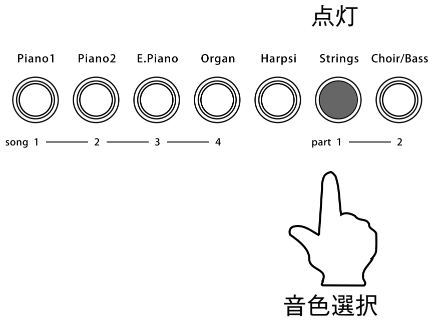
録音済みのパート1を聴きながら、パート2に録音してみましょう。

1 録音に使う音色を選ぶ

音色ボタンを押して指定します。

録音を行うと、音色の選択も記録されます。

例: ストリングスの音色を選ぶ



2 録音先を指定する

Rec(レック)ボタンを押しながら、録音するPart(パート) 2のボタンを押します。

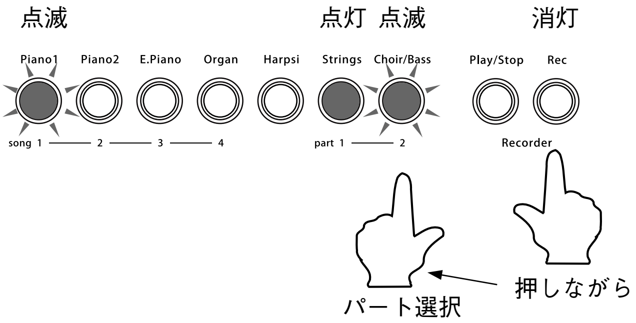
Recボタンを押している間、指定したSong(ソング)とPart 2のボタンは点滅して、録音待機状態になったことを示します。

また、Part 1のボタンは点灯しますが、これはすでに録音済みのPart 1が再生待機状態になったことを示します。

Recボタンを離すと、Recボタンは点滅に変わり、選んだSongとPart 2のボタンは点滅をやめて、最後に選んだ音色の点灯に変わります。

・録音を中止する場合は、Recボタンを押してRecボタンを消灯させます。

例: ソング1のパート2を選ぶ

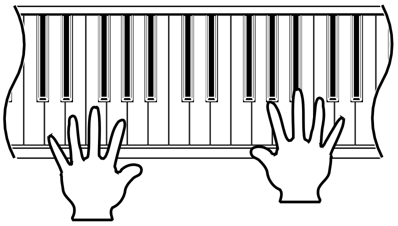


3 録音を開始する

演奏を始めます。

RecボタンとPlay/Stop(プレイ/ストップ)ボタンが点灯してパート1の内容が再生を始めると共に、パート2への録音が始まります。

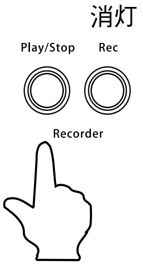
・Play/Stopボタンを押して録音を開始することもできます。



4 録音を終了する

Play/Stop(プレイ/ストップ)ボタンを押します。

RecボタンとPlay/Stopボタンが消灯して、録音が終了します。



・レコーダーの総記憶容量は、ソング1〜4の合計で約15,000音です。録音中に記憶容量がいっぱいになると録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。

・演奏を失敗した場合など録音し直す場合は、上記の1〜4の手順で再度行ってください。

2）再生する

録音した内容を再生してみましょう。

1 曲を指定する

Play/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押しながら、再生するSong（ソング）ボタンを押します。

指定したSongボタンが点滅します。

Play/Stopボタンを押している間に点灯するSongボタンは、録音済みのボタンです。

2 再生を開始する

Play/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを離します。

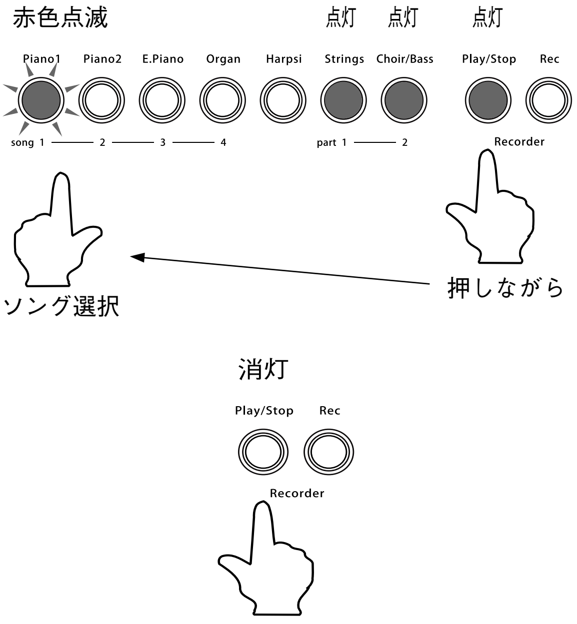
再生が始まります。

3 再生を終了する

Play/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。

Play/Stopボタンが消灯して、再生が終了します。

例: ソング1を選ぶ



パートをミュートする

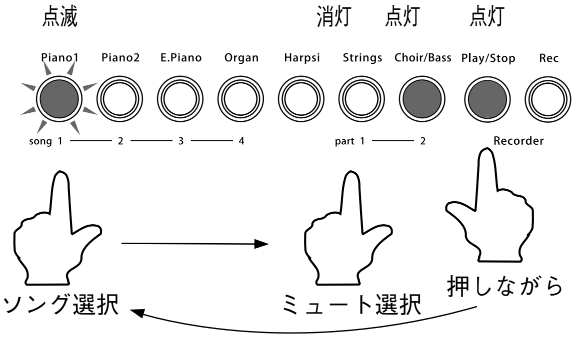
録音済みのパートでも、音を一時的に消して再生することができます。

片方のパートをミュートして再生する

Play/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押しながら、再生するSong（ソング）ボタン、ミュートするPart（パート）ボタンを順に押します。

ミュートを指定したPartボタンは消灯し、残りのパートだけで再生が始まります。

例: ソング1のパート1をミュートする



3）録音済みのパートを消去する

不要な曲をパートごとに消去することができます。

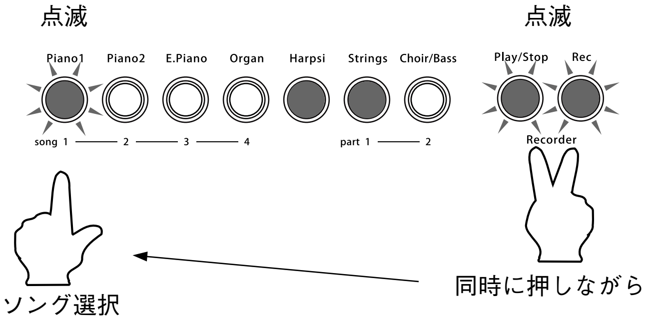
1 曲を指定する

Play/StopボタンとRecボタンを同時に押しながら、消去するパートのSongボタンを押します。Play/StopボタンとRecボタンは押し続けます。

指定したSongボタンが点滅します。

Play/StopボタンとRecボタンを同時に押したときに点灯するSongボタンは、録音済みのボタンです。

例: ソング1を指定する

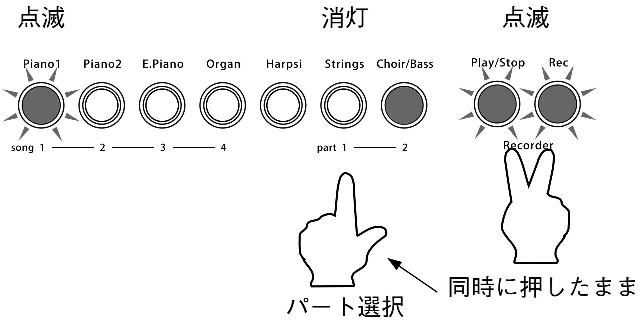


2 消去するパートを指定する

Play/StopボタンとRecボタンを同時に押したまま、消去するPartボタンを押します。

指定したPartボタンが消灯して、消去が完了します。

例: パート1を消去する



・別のパートも消去する場合は、上記の1〜2の手順で繰り返してください。

すべての曲を消去する

録音されているすべての曲（ソング1〜4）を一括で消去することができます。

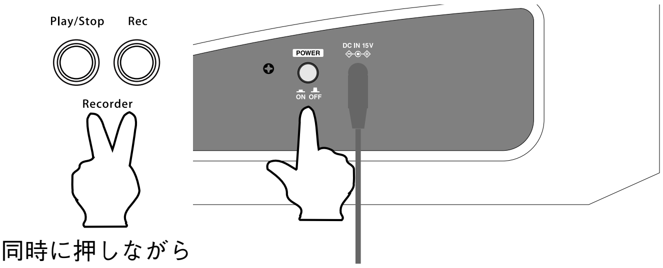
1 消去の準備

電源を切ります。

2 一括消去する

Play/StopボタンとRecボタンを同時に押しながら、電源を入れます。

一括消去が完了します。



各種設定[ファンクション]

1）設定の種類

この章では、本機をさらに発展させて使う設定モードの機能（ファンクション）を紹介します。
設定モードには下表の項目があります。

音色ボタン	一度押し			二度押し		
	機能名	ディスプレイ表示	説明ページ	機能名	ディスプレイ表示	説明ページ
Piano1	ブリリアンス *	bri	31	MIDI送受信チャンネル *	Chn	40
Piano2	チューニング *	tun	32	プログラムナンバー送信	PGo	41
E.Piano	ボイシング *	Vic	33	ローカルコントロール *	LcL	42
Organ	ダンパーエフェクト *	dEF	34	プログラムナンバー送信ON/OFF *	PGM	43
Harpsi	ストリングレゾナンス *	Str	35	マルチティンバー・モード *	MLt	45
Strings	音律 *	tMP	36	チャンネルミュート *	―	46
Choir/Bass	メモリー･バックアップ	MEM	37			

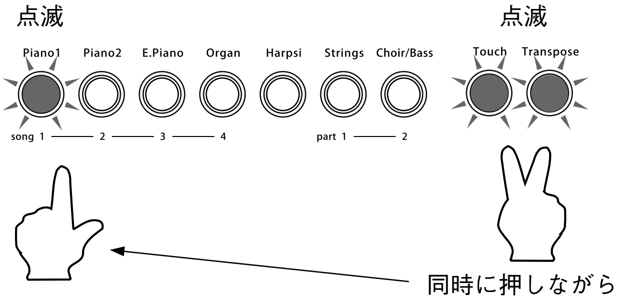
表中の“*”の機能は、メモリー･バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

■ 設定モードの基本的な操作方法

1 **設定モードに入る**

Functionボタン（TouchボタンとTransposeボタン）を押しながら、メニューが割り当てられている音色ボタンを押します。

1つの音色ボタンに2つのメニューが割り当てられており、音色ボタンを繰り返し押すことでメニューを選択することができます。



2 **設定を変更する**

各メニューの設定は、Valueボタンで変更します。

3 **設定モードから抜ける**

TouchボタンまたはTransposeボタンを押すか、音色ボタンを押します。

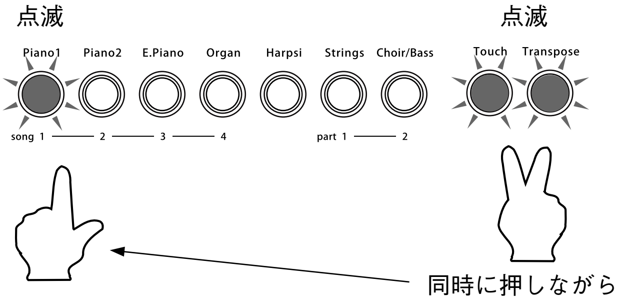
2) 音の明るさを変える[ブリリアンス]

音の明るさを変えて演奏することができます。

1 ブリリアンスの設定準備

Touch(タッチ)ボタンとTranspose(トランスポーズ)を押しながら、Piano1(ピアノ)ボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとPianoボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



2 設定を変更する

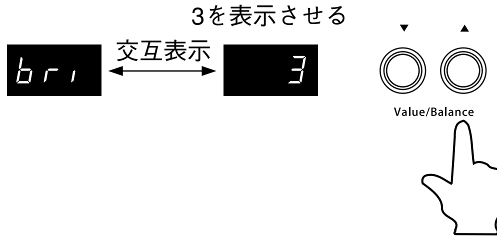
Value(バリュー)ボタンを押して設定します。

-10〜+10の範囲で設定できます。

-側の値にするほど暗い音になり、+側の値にするほど明るい音になります。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: +3を選ぶ



・工場出荷時の設定値は0です。
・メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定値を記憶させておくことができます。

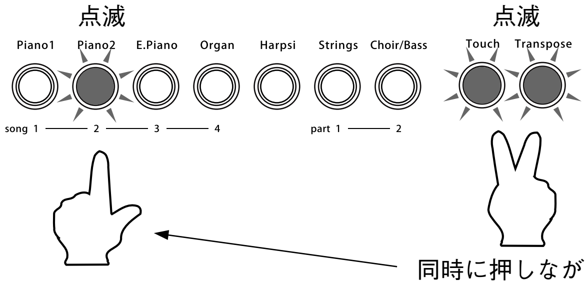
3）音程を微調整する[チューニング]

他の楽器と合奏したり、CDなどの再生音に合わせて演奏するときに、ピッチ（音程）を合わせることができます。A3の音を基準にして、427.0～453.0Hzの範囲、0.5Hz単位で設定できます。

1 チューニングの設定準備

Touch（タッチ）ボタンとTranspose（トランスポーズ）ボタンを押しながら、Piano2（ピアノ2）ボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタン とPiano2ボタンがに点滅し、現在の設定が表示され、現在の基準音が発音されます。



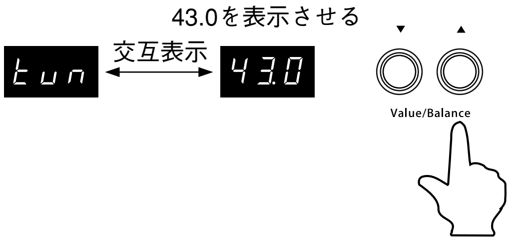
2 設定を変更する

Value（バリュー）ボタンを押して設定します。

A3の音を基準にして、427.0～453.0Hzの範囲、0.5Hz単位で設定できます。表示は、百の位が省略されて十の位以下が表示されます。値を大きくするほど音程が高くなります。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: 443.0Hzを選ぶ



・ 工場出荷時の設定値は440.0Hzです。
・ メモリー･バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定値を記憶させておくことができます。

4) 音色のニュアンスを変える[ボイシング]

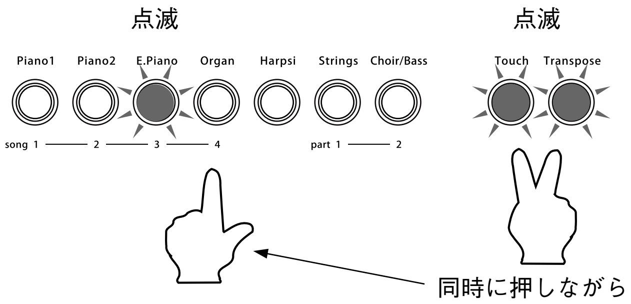
アコースティックピアノは、ピアノ内部のハンマーフェルトの堅さの違いによっても、音色のニュアンスが微妙に異なるものです。本機のボイシング機能では、これと同様に音色のニュアンスを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　能
ノーマル	nrM	標準の設定です。
メロウ1、2	ML 1,ML 2	柔らかめのハンマーをシミュレートしたソフトな音色です。
ダイナミック	dYn	弱く弾いたときはソフトな音色、強く弾いたときはブライトな音色。ダイナミックに変化します。
ブライト1、2	br 1,br 2	硬めのハンマーをシミュレートしたブライトな音色です。

1 ボイシングの設定準備

Touch(タッチ)ボタンとTranspose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、E.Piano(イーピアノ)ボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとE.Pianoボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



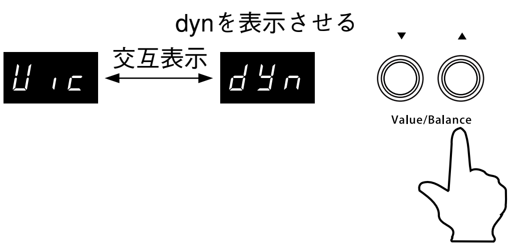
2 設定を変更する

Value(バリュー)ボタンを押して設定します。

6種類の中から選択できます。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: ダイナミックを選ぶ



- ・工場出荷時の設定はノーマルです。
- ・メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

5) ダンパーペダルの共鳴効果を変える[ダンパーエフェクト]

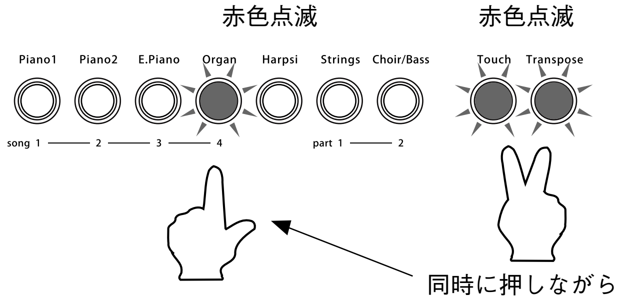
アコースティックピアノでは、ダンパーペダル(8ページ参照)を踏んだとき、ピアノ全体の共鳴効果が加わります。本機のペダルエフェクト機能では、これと同様に共鳴効果の深さを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　能
オフ	oFF	共鳴音は加わりません。
1	1	共鳴効果が浅くかかります。
	·	
	·	
	·	
10	10	共鳴効果が深くかかります。

1 ダンパーエフェクトの設定準備

Touchボタンと Transposeボタンを押しながら、Organボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとOrganボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



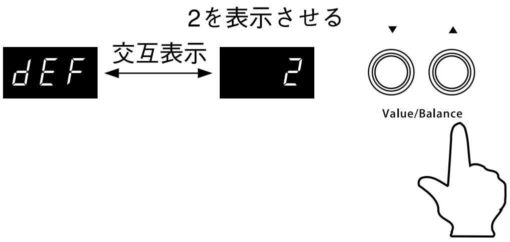
2 設定を変更する

Value/Balanceボタンを押して設定します。

off,1〜10の範囲で設定できます。

TouchボタンTranspose ボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例:2を選ぶ



- 工場出荷時の設定は5です。
- メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

6）ピアノの弦の共鳴効果を変える【ストリングレゾナンス】

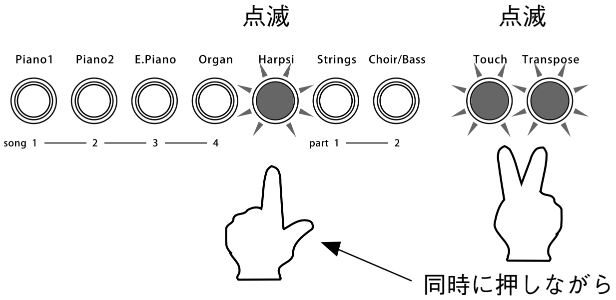
アコースティックピアノでは、ある鍵盤を押さえた状態で他の鍵盤を弾くと、2つの鍵盤の音程の関係によって弦の共鳴が発生して音がでます。本機のストリングレゾナンス機能では、これと同様に共鳴効果の深さを変えることができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　能
オフ	oFF	共鳴音は加わりません。
1	1	共鳴効果が浅くかかります。
	·	
	·	
	·	
10	10	共鳴効果が深くかかります。

1 ストリングレゾナンスの設定準備

Touchボタンと Transposeを押しながら、Harpsiボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとHarpsiボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。



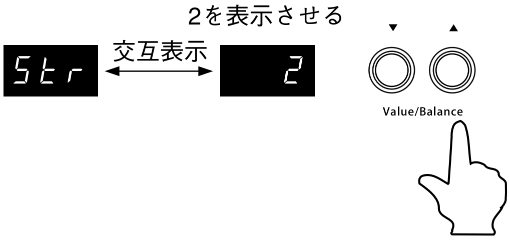
2 設定を変更する

Value/Balanceボタンを押して設定します。

off,1〜10の範囲で設定できます。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例:2を選ぶ



・工場出荷時の設定は5です。
・メモリー･バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

7）音律を変える

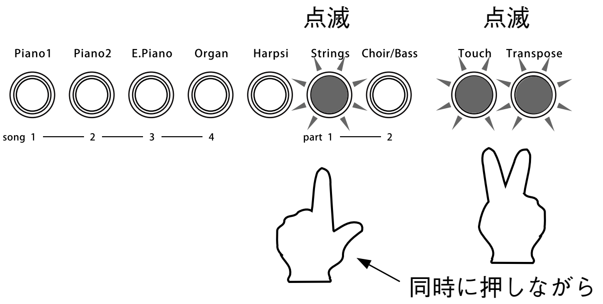
ピアノの音律（調律法）には様々なものがあります。現在最も一般的な音律は平均律ですが、平均律が完成するまでには、様々な音律と音楽が誕生しました。es1には9種類の音律が用意されています。その当時の音律に合わせて演奏すれば、その曲が誕生したときの響きを味わうことができます。

種　類	ディスプレイ表示	機　能
平均律（ピアノ）	E9P	ピアノの音色を選んだ場合はピアノの調律曲線に従い、それ以外の音色を選んだ場合は平均律（フラット）に従います。
純正律（長調）	Pr 1	3度と5度のうなりをなくした調律法です。合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
純正律（短調）	Pr2	純正律は長調と短調で異なります。 長調と同様の特長を持ちます。
ピタゴラス音律	PYt	5度のうなりをなくした調律法です。和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
中全音律	Mnt	3度のうなりをなくした調律法で、平均律よりも和音が美しく響きます。
ヴェルクマイスター第Ⅲ法	Wrk	調号の少ない調は和音が美しい中全音律に近く、調号が増えるに従って緊張感が高くメロディーが美しいピタゴラス音律に近い音律です。古典音楽の作曲家が意図した“調正の性格”を反映させることができます。
キルンベルガー第Ⅲ法	Krn	
平均律（フラット）	E9F	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても、和音の響きが変わらないという特長があります。
平均律（ストレッチ）	E9L	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として最もポピュラーなものです。

1 音律の設定準備

Touch（タッチ）ボタンとTranspose（トランスポーズ）ボタンを押しながら、Strings（ストリングス）ボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとStringsボタンが点滅し、現在の設定が表示されます。

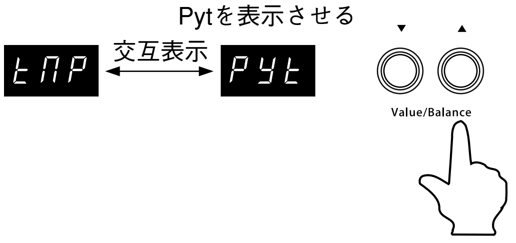


例: ピタゴラス音律を選ぶ

2 設定を変更する

Value/Balance（バリュー／バランス）ボタンを押して設定します。

9種類の中から選択できます。



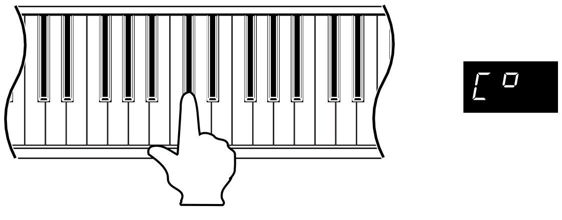
3 演奏する曲の調を指定する

鍵盤を押して設定します。

C、C#、D、D#、E、F、F#、G、G#、A#、Bの中から選択できます。ただし、平均律を選択した場合は、調を指定する必要はありません。

TouchボタンTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: C#を選ぶ



・工場出荷時の設定は平均律（ピアノ）およびCです。
・メモリー･バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

8) 設定を記憶させる[メモリー・バックアップ]

パネル上の各種設定を、記憶(バックアップ)することができます。電源を入れると、記憶させた状態で演奏できるようになります。

記憶されるのは次の項目です。

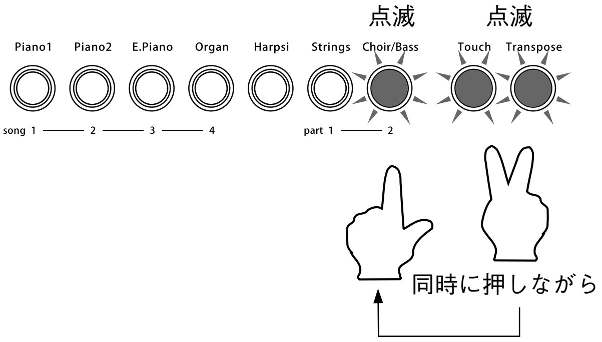
・音色の選択
・音色ごとの効果(リバーブ)の設定
・イコライザーの設定
・各種設定(30ページの表を参照)
・トランスポーズの設定
・リズム/メトロノームの拍子、テンポ、音量
・タッチカーブの設定

種　類	ディスプレイ表示	機　能
リセット	rES	電源を入れたときに、工場出荷時の状態に戻ります。
ユーザー	uSr	メモリー･バックアップ実行時のパネル上の設定を記憶します。 電源を入れたときに、記憶した状態になります。

1 メモリーバックアップの設定準備

Touch(タッチ)ボタンとTranspose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、Choir/Bass(クワイヤー/ベース)ボタンを押します。

TouchボタンとTransposeボタンとChoir/Bassボタンが点滅します。

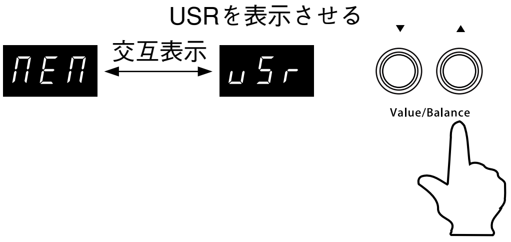


2 設定を変更する

Value/Balance(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。

注)表示を設定しただけでは記憶されません。必ず3を実行してください。

例: ユーザーを選ぶ

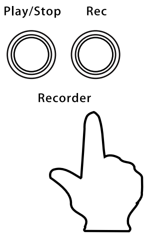


3 リセットかユーザーを記憶する

Rec(レック)ボタンを押します。

メモリー･バックアップが実行されます。

Touchボタン、Transposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。



が表示され、メモリー･バックアップが実行される。

9）MIDI(ミディ)機能を使う

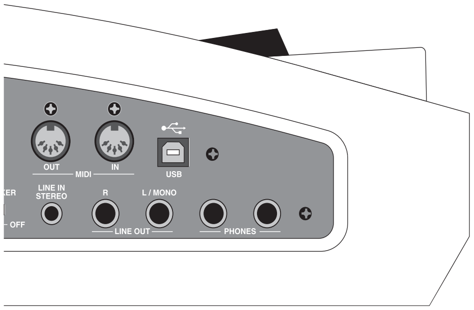
本機にはMIDI機能があります。MIDI機能を使うと、他のMIDI機器と様々なやりとりが可能です。

MIDI(ミディ)について

MIDIとは、Musical Instrument Digital Interface(ミュージカルインストゥルメント デジタル インターフェース)の略称で、MIDI端子を装備した楽器や周辺機器、コンピュータを接続して、演奏情報や各種の命令を送受信するための世界統一規格です。

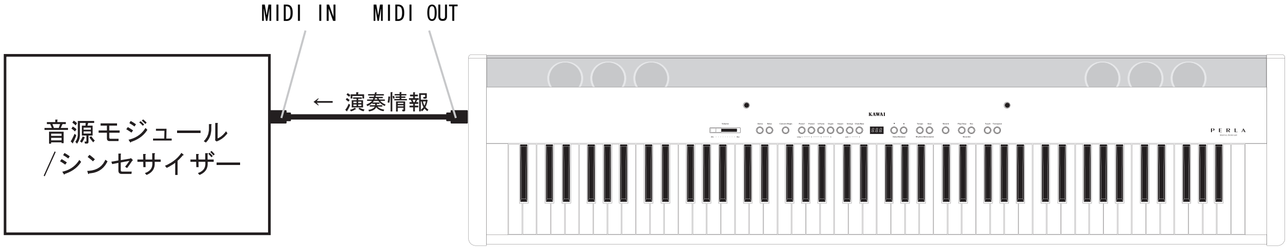
本機のMIDI端子には、MIDI INとMIDI OUTの2種類あります。他の機器との接続にMIDIケーブルを使用します。

MIDI IN　：演奏情報や各種の命令を受信します。
MIDI OUT ：演奏情報や各種の命令を送信します。

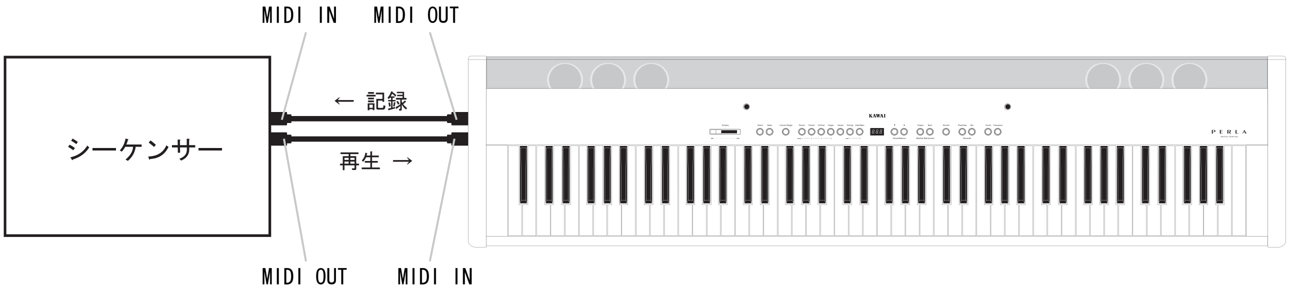


■ MIDI接続例

図のように音源モジュールやシンセサイザーを接続すると、本機で弾いた情報(どの鍵盤をどの程度の強さで弾いたか)が、そのまま接続された機器に伝わり、それらの機器の音と本機の音を重ねて出すことができます。



また、シーケンサーと接続すれば、さらに多くの演奏をシーケンサーに音情報として記憶することができ、それを再生することによって練習に役立てることができます。
本機の設定をマルチティンバー・モード・オンにして再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラホンなどの複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむこともできます。



MIDI機能

（ミディ）

本機のMIDI機能は、以下の通りです。

◆ **鍵盤情報の送信･受信**
本機を弾いてシンセサイザーなどから音を出したり、その逆が可能です。

◆ **送受信チャンネルの設定**
送受信チャンネルを1〜16の範囲で設定することができます。

◆ **プログラム（音色）ナンバーの送信**
本機とMIDI接続した機器の音色を、本機側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ **ペダル情報の送信・受信**
付属のフットペダル（F-1r）の接続時に、ダンパーペダルのオン/オフ情報を送受信できます。
別売のフットペダル（F-20：2本ペダル）を使用すれば、ソフトペダルのオン/オフ情報も送受信できます。

◆ **ボリューム情報の受信**
シンセサイザーなどを弾いて本機の音を出しているとき、シンセサイザーで本機の音量をコントロールすることができます。

◆ **マルチティンバー･モードの使用**
本機をマルチティンバー･モード オンにすると、複数の異なるチャンネルの鍵盤情報を受信して、それぞれ別の音色で鳴らすことができます。

◆ **エクスクルーシブデータの送信･受信**
パネル操作や各種設定モードで設定した値を、エクスクルーシブデータとして送受信させることができます。

◆ **レコーダーの再生情報の送信**
本機のレコーダーに録音した演奏を、MIDI接続した電子楽器側で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。
リズム/メトロノームやピアノ曲データは、MIDI送信されません。

MIDI送受信チャンネルの設定

接続するMIDI機器と演奏情報や各種の命令をやりとりするためには、送信側の送信チャンネルと受信側の受信チャンネルを一致させておく必要があります。
本機では、送信･受信共通のチャンネルを設定するようになっています。

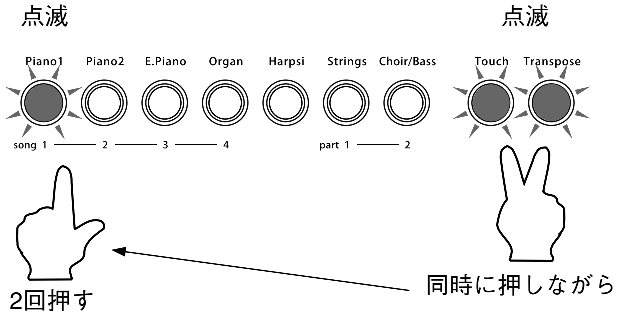
ディスプレイ表示	受信チャンネル	送信チャンネル
1	オムニ･オン	1
1	1	1
2	2	2
3	3	3
	·	
	·	
	·	
16	16	16

※ 工場出荷時の設定は1（オムニ･オン、送信チャンネルは1）の状態になっています。オムニ･オンは、1〜16チャンネルすべての情報を受信できる状態です。MIDI送受信チャンネルの設定を行うとオムニ･オフになり、設定したチャンネルの情報のみ受信するようになります。

1 MIDI送受信チャンネルの設定準備

Touchボタンと Transposeボタンを押しながら、Piano1ボタンを2回押してPianoボタンを点滅させます。

現在の設定が表示されます。



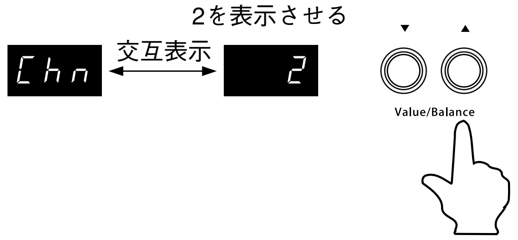
2 設定を変更する

Value/Balannceボタンを押して設定します。

1〜16チャンネルの範囲で指定できます。

Touchボタンと Transposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: チャンネル2を選ぶ



· メモリー･バックアップ機能（37ページ参照）を使って、設定を記憶させておくことができます。

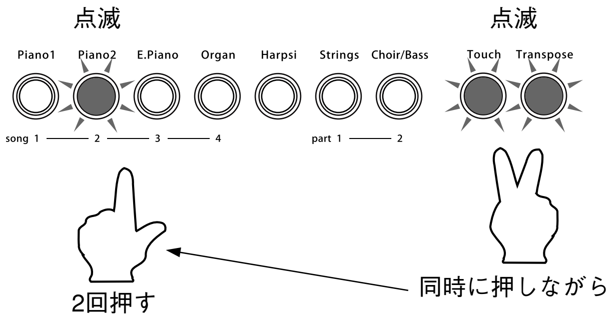
プログラムナンバーを送信する

es1でプログラム(音色)ナンバー送信の操作をして、外部機器の音色を切り替えることができます。

・ 1〜128の範囲でプログラムナンバーを送信できます。
・ 43ページで紹介する「プログラムナンバー送信 オン/オフの設定」に影響されることはありません。

1 プログラムナンバーの指定準備

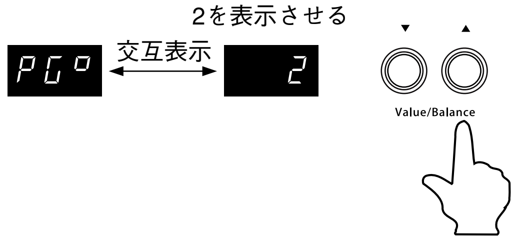
Touchボタンと Transposeボタンを押しながら、Piano2ボタンを2回押してPiano2ボタンを点滅させます。



2 プログラムナンバーを指定する

Value/Balanceボタンを押して指定します。
1〜128の範囲で指定できます。

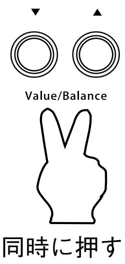
例: プログラムナンバー2を選ぶ



3 プログラムナンバーを送信する

Value/Balanceボタンを2つ同時に押します。
プログラムナンバーが送信されます。

Touchボタンと Transposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。



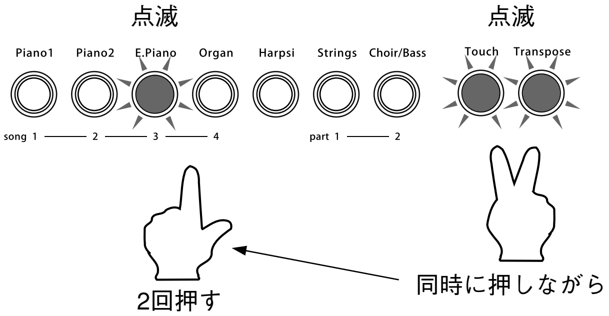
ローカルコントロール オン/オフの設定

本機の演奏音を本機で出すか出さないかを指定できます。
ローカルコントロール オンを指定すると、本機の鍵盤を弾くと通常通り本機から音が出ます。
ローカルコントロール オフを指定すると、本機の鍵盤を弾いても本機から音が出なくなります。
本機の演奏音を外部機器側だけで鳴らしたいときは、ローカルコントロール オフを指定してください。

・ローカルコントロール オフを指定した場合でも、外部機器の演奏情報を受信して本機から音を出すことができます。

1 ローカルコントロールの設定準備

Touchボタン Transposeボタンを押しながら、E.Pianoボタンを2回押してE.Pianoボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

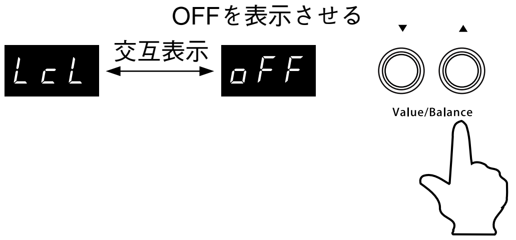


2 設定を変更する

Value/Balanceボタンを押して設定します。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: ローカルコントロール オフを選ぶ



・工場出荷時の設定はローカルコントロール オンです。
・メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

プログラムナンバー送信 オン/オフの設定

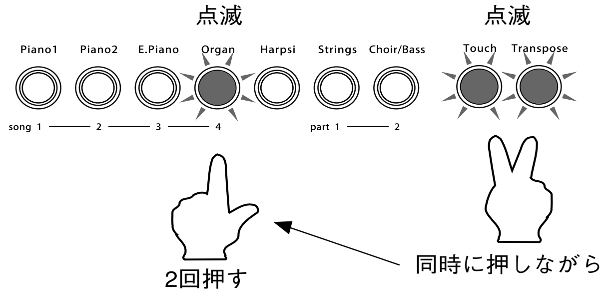
本機の音色ボタンを操作したときにプログラム(音色)ナンバーを送信するかしないかを指定できます。
プログラムナンバー送信 オンを指定すると、本機で音色選択をしたときに通常通り本機からプログラムナンバーを送信します。(次ページのプログラムナンバー表を参照)
プログラムナンバー送信 オフを指定すると、本機で音色選択をしても本機からプログラムナンバーは送信しません。本機で音色を切り替えても外部機器側の音色を切り替えたくない場合には、プログラムナンバー送信オフを指定してください。

※プログラムナンバー送信 オンを指定しておくと、以下のMIDIエクスクルーシブデータも送信されます。

- リバーブの設定(オン/オフ、タイプ)操作
- チューニング操作
- プログラムナンバー送信オン/オフの操作
- タッチカーブセレクトの操作
- デュアルの設定操作
- 音律の設定操作
- マルチティンバー･モード オン/オフの操作
- マルチティンバー･モードのチャンネルミュートの設定操作

1 プログラムナンバー送信の設定準備

Touchボタンと Transposeボタンを押しながら、Organボタンを2回押してOrganボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

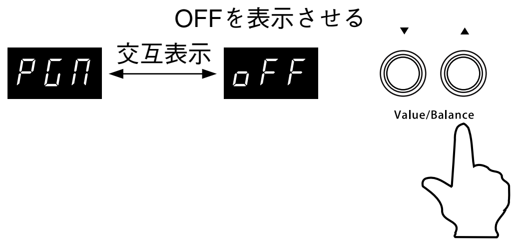


2 設定を変更する

Value/Balanceボタンを押して設定します。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: プログラムナンバー送信 オフを選ぶ



- 工場出荷時の設定はプログラムナンバー送信 オンです。
- メモリー･バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。
- デュアルモード時には、デュアルモードのオン/オフ情報、音色の切り替えなどをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。(マルチティンバー･モード オンのときは送信します。)

◆音色に対応するプログラムナンバー

Category	Sound Name	マルチティンバーモード オフ、オン1Prog#	オン2 MSB	オン2 LSB	オン2 Prog#
PIANO1	コンサートグランド1	1	121	0	1
	メローグランド1	2	121	2	1
	ピアノストリングス1	3	95	101	1
	ピアノボイス	4	95	103	1
PIANO2	コンサートグランド2	5	95	16	1
	メローグランド2	6	95	18	1
	ピアノストリングス2	7	95	102	1
	ピアノブラス	8	95	104	1
E.Piano	クラシックエレクトリックピアノ	9	121	0	5
	モダンエレクトリックピアノ	10	121	0	6
	60'sエレクトリックピアノ	11	121	3	5
	レジェンドエレクトリックピアノ	12	121	3	6
Organ	ジャズオルガン1	13	121	0	18
	ジャズオルガン2	14	121	0	17
	チャーチオルガン1	15	121	0	20
	チャーチオルガン2	16	95	7	20
Harpsi	ビブラフォン	17	121	0	12
	ハープシコード	18	121	0	7
	クラビネット	19	121	0	8
	マリンバ	20	121	0	13
Strings	ストリングス	21	121	0	49
	ビューティフルストリングス	22	95	1	45
	ストリングスパッド	23	95	8	49
	ウォームストリングス	24	95	1	49
Choir/Bass	クワイア	25	121	0	53
	ニューエイジ	26	121	0	89
	アコースティックベース	27	121	0	33
	フィンガーベース	28	121	0	34

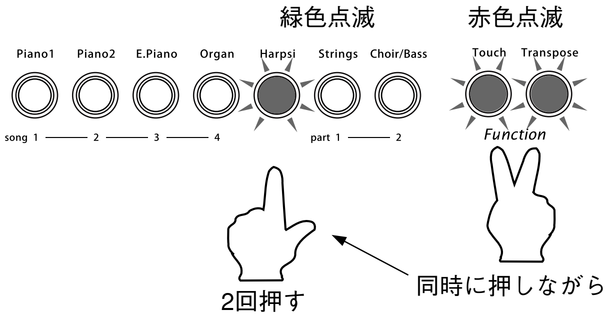
マルチティンバー・モード オン/オフの設定

マルチティンバー・モード オン/オフの設定ができます。
通常のマルチティンバー・モード オフのときは、設定したMIDI(ミディ)チャンネル(1～16のいずれか1つ)で情報を送受信しますが、マルチティンバー・モード オンを指定すると、複数のMIDIチャンネルの演奏情報を受信できるようになり、個々のチャンネルで受信したプログラムナンバーに各音色が対応して鳴ります。(受信したプログラムナンバーに対応する音色は前ページの表の通りです。)
この機能を使うことにより、外部のシーケンサーに記録してあるアンサンブル演奏を、本機の複数の音色で鳴らすことができます。

※ マルチティンバー・モード オンの場合は、次ページのチャンネルミュートの機能を使うと、チャンネルごとに発音をオン/オフできます。

1 マルチティンバー・モードの設定準備

Touch(タッチ)ボタンとTranspose(トランスポーズ)ボタンを押しながら、Harpsi(ハープシー)ボタンを2回押してHarpsi(ハープシー)ボタンを点滅させます。
現在の設定が表示されます。

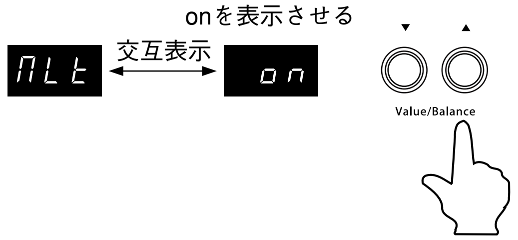


2 設定を変更する

Value/Balance(バリュー/バランス)ボタンを押して設定します。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: マルチティンバー・モード オンを選ぶ



・ 工場出荷時の設定はマルチティンバー・モード オフです。
・ メモリー・バックアップ機能(37ページ参照)を使って、

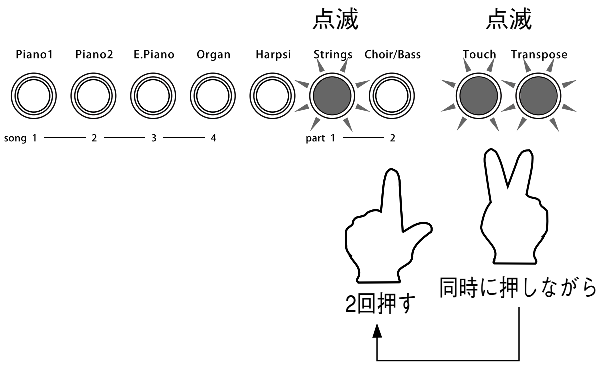
チャンネルミュートの設定

マルチティンバー･モード オンを指定した場合のみ設定する機能で、1〜16チャンネルそれぞれ発音のオン/オフを指定できます。

・ マルチティンバー･モード オフの場合は、この機能は設定できません。

1 チャンネルミュートの設定準備

Touchボタンと Transposeボタンを押しながら、Stringsボタンを2回押してStringsボタンを点滅させます。



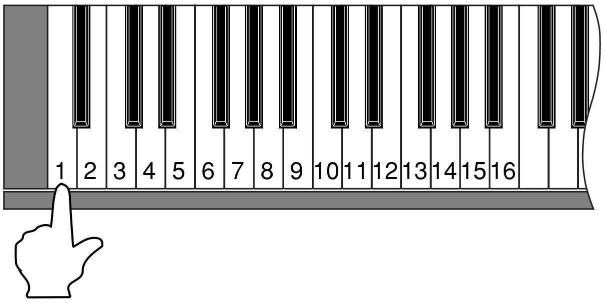
2 設定するチャンネルを指定する

設定するチャンネルに対応する鍵盤を押します。

指定したチャンネルの現在の設定が表示されます。

この機能の設定を行っている間は、鍵盤を押しても音が出ません。

例: 1チャンネルを指定する



3 設定を変更する

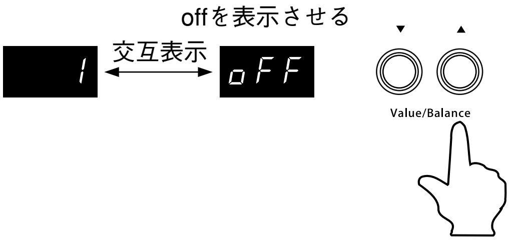
Value/Balanceボタンを押して指定します。

発音させる場合はオンを指定し、発音させない場合はオフを指定します。

他のチャンネルを設定する場合は、2、3の操作を繰り返して設定してください。

TouchボタンとTransposeボタン、音色ボタンのいずれかを押すと、設定モードから抜けます。

例: オフを指定する



・ 工場出荷時の設定は、全チャンネルオンです。
・ メモリー･バックアップ機能(37ページ参照)を使って、設定を記憶させておくことができます。

付　録

1）外部機器と接続する

⚠ 外部機器と接続する場合には、各機器の電源を切ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に各機器のボリュームを最小にしてください。
本機や外部機器の故障の原因になります。

① LINE IN STEREO（ライン イン ステレオ）端子（ライン入力ステレオ端子）＜ミニジャック＞

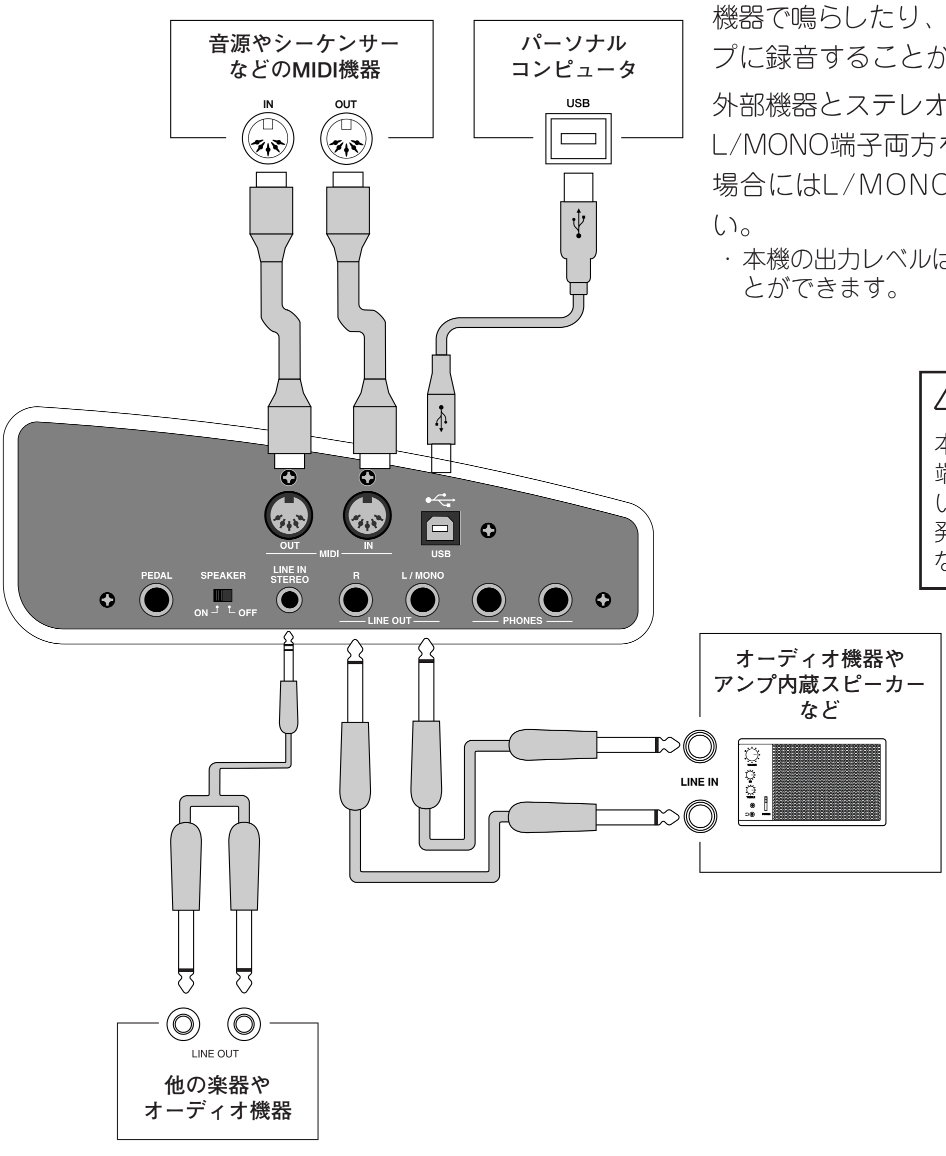
他の楽器やオーディオなどのライン出力端子とこの端子を接続すると、接続した機器の音を本機の内蔵スピーカーから出力できます。
この場合、本機側で音量を調節できませんので、外部機器側で調節してください。

② LINE OUT（ライン アウト）端子（ライン出力端子）＜標準ジャック＞

この端子をアンプ内蔵スピーカーやステレオなどのライン入力端子に接続すると、本機の音を外部機器で鳴らしたり、ミニディスクやカセットテープに録音することができます。

外部機器とステレオ接続する場合には、R端子とL/MONO端子両方を使用し、モノラル接続する場合にはL/MONO端子だけを使用してください。

・本機の出力レベルは、Master Volume（マスターボリューム）で調節することができます。



⚠ 注意

本機のLINE IN（ライン イン）端子とLINE OUT（ライン アウト）端子を直接ケーブルで接続しないでください。
発振音が発生し、故障の原因になります。

LINE端子について

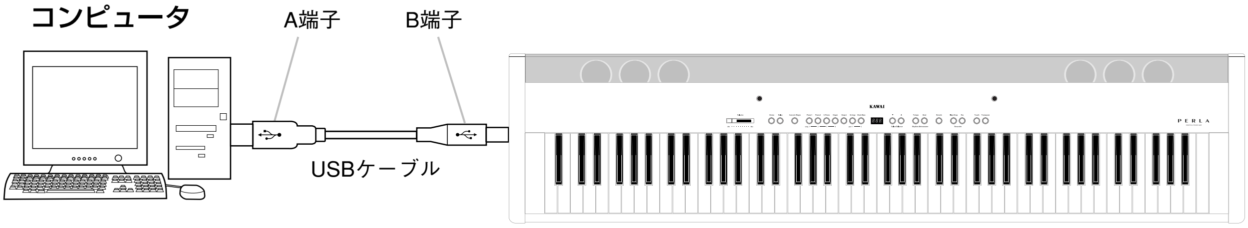
接続する機器によって使用するケーブルは異なりますので、機器にあわせて市販のケーブルをお買い求めください。

③ MIDI(ミディ)端子

MIDI規格対応の機器と接続する端子です。市販のMIDIケーブルをご使用ください。

④ USB(ユーエスビー)端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。
・USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータはA端子、電子ピアノとはB端子でそれぞれ接続します。



USBドライバーについて

コンピュータと電子ピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、電子ピアノを正しく動作させるためのソフトウェア(USBドライバー)がコンピュータに組み込まれている必要があります。お使いのコンピュータのOSによって使用するUSBドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

Windows XP/Meをお使いの方

Windowsに搭載されている標準USBドライバーを使用しますので、新たにUSBドライバーをインストールする必要はありません。

Windows 2000/98SEをお使いの方

指定の専用USBドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用USBドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。

http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/

Macintoshをお使いの方

Mac用のUSBドライバーはありません。市販のUSB対応MIDIインターフェースを介して、es1とMIDI接続してください。

※"MIDI"は、社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
※Windowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
※Macintoshは、Apple Computer,Inc.の登録商標です。
※その他、本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社商標または登録商標です。

USBに関するご注意

・MIDIとUSBが同時に接続された場合、USBが優先されます。

・電子ピアノとコンピュータをUSBケーブルで接続する場合は、まずUSBケーブルを接続してから電子ピアノの電源を入れてください。

・電子ピアノとコンピュータをUSB接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。

・電子ピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。

・下記の動作中、電子ピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータや電子ピアノの動作が不安定になる場合があります。

* ドライバーのインストール中
* コンピュータの起動中
* MIDIアプリケーションが動作中
* コンピュータと通信中
* 省電力モードで待機中

※ お使いのコンピュータの設定によっては、USBが正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

「本製品で使用しているUSB-MIDI変換ボード「TID10000934」は、USB-IF(USB Implementers Forum Inc.)によるロゴ認証を取得しています。」

2）Pfunの使い方

Pfunとは、J-POPの曲をバックバンド付きのピアノ曲にアレンジした別売の「Pfunピアノ曲集」の音楽データを本機に入れて練習する機能です。
パートのミュート機能を使って伴奏をバックに演奏したり、ジャンプ機能により好きな場所から演奏して楽しむこともできます。
Pfunピアノ曲はアレンジのクオリティーが高いので、聴くだけでも楽しめます。

本機でPfunを楽しむには、
1.別売のPfunピアノ曲集（曲データCD付き）
2.パーソナルコンピューター
が必要となります。詳細は付属の「楽譜集のご案内」をご覧下さい。

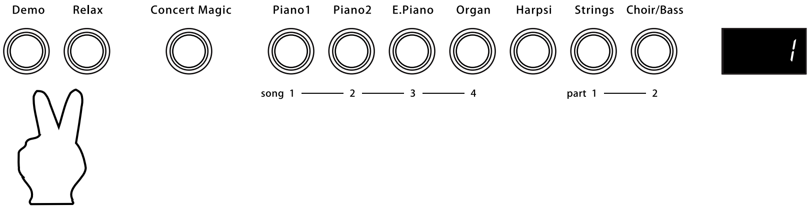
Pfun曲を選ぶ

1 音楽データを入れる

Pfun（ピーファン）ピアノ曲集に付属している取扱説明書に従って音楽データを本機に入れます。
取扱説明書「Pfunピアノ曲データ追加アプリケーション「Pfun Updater」のインストールと操作方法」

2 ボタンを同時に押します。

DEMO（デモ）ボタンとRelax（リラックス）ボタンを同時に押します。
ディスプレイに「1」と表示されます。音色はピアノが選ばれます。

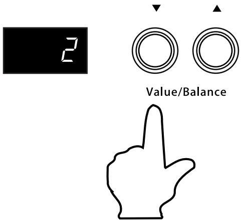


同時に押す

■曲が入っていない場合は、「---」と　表示されます。

3 曲を選ぶ。

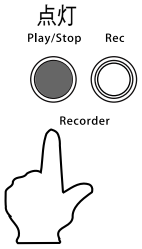
Value/Balance（バリュー/バランス）（▲▼）ボタン を押して曲を選びます。



Pfun曲を聴く

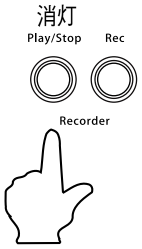
1 ***曲を選んだ後、Recorder（レコーダー）のPlay/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。***

ボタンが点灯し、曲の再生が始まります。



2 ***もう一度Recorder（レコーダー）のPlay/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。***

ボタンが消灯し、曲の再生が止まり最初に戻ります。

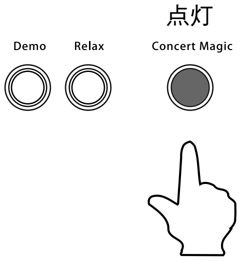


Pfun曲と合奏する

ピアノパートをミュート（消す）してバックバンドに合わせて演奏することができます。

1 ***曲を選んだ後、Concert Magic（コンサートマジック）ボタンを押します。***

Concert Magicボタンが点灯して、ピアノパートがミュートされます。



- *バックバンドをミュートする場合*
  もう一度Concert Magic（コンサートマジック）ボタンを押します。

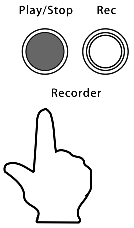
  Concert Magicボタンが点滅して、バックバンドがミュートされます。
  ピアノパートをはっきり聴くことができます。

- *ミュートを取り消す場合*
  再度Concert Magic（コンサートマジック）ボタンを押します。

  Concert Magicボタンが消灯して、ミュートが取り消されます。

2 ***Recorder（レコーダー）のPlay/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。***

ボタンが点灯し、曲の再生が始まりますので、バックバンドにあわせてピアノ演奏します。

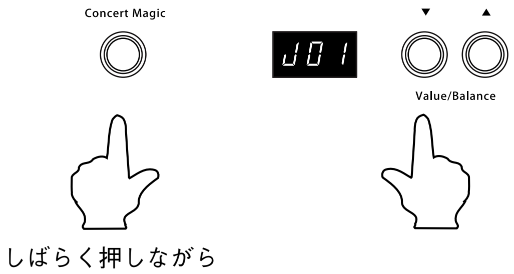


指定したポイントから再生する

Pfunピアノ曲では、1曲をいくつかの小節で区切るジャンプポイントがあらかじめ設定されています。ジャンプポイントを指定して再生することで、途中から繰り返し聴いたり、練習することができます。ジャンプポイントの小節はPfunピアノ曲集の楽譜に記載されています。

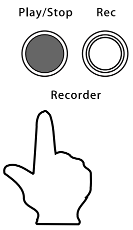
1 ジャンプポイントを選ぶ

曲を選んだ後、Concert Magic（コンサートマジック）ボタンをしばらく押してジャンプポイントを表示させた後Value/Balance（バリュー／バランス）ボタンを押して、ジャンプポイントを選びます。



曲を選んだ時、ジャンプポイントの設定はoffになります。

2 Recorder（レコーダー）のPlay/Stop（プレイ/ストップ）ボタンを押します。



ボタンが点灯し、指定したジャンプポイントから曲の再生が始まり、終わりまで再生するとジャンプポイントに戻って繰り返します。

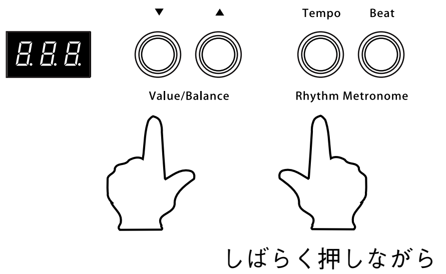
曲を再生中に、Concert Magicボタンをしばらく押してジャンプポイントの設定を表示した後に離すと、ジャンプポイントから再生が始まります。

テンポを変える

Pfunピアノ曲のテンポを変えることができます。

1 テンポを調整

曲を選んだ後、Tempoボタンをしばらく押しながらテンポを表示させValue/Balanceボタン（▲▼）を押して、テンポを調整します。

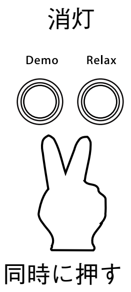


テンポをもどすには曲を選び直すか、テンポを表示させた状態でValue/Balanceボタン（▲▼）を同時に押します。

Pfunを終了する

Demoボタンと Relaxボタンを同時に押します。

DemoボタンとRelaxボタンが消灯し通常の状態に戻ります。



3）主な仕様

■ 鍵　盤	88鍵/アドバンスト･ハンマー･アクションⅣ
■ 同時発音数	最大96音
■ 音色数	28音色
■ ディスプレイ	3桁LED
■ 効果	リバーブ（5種類）、イコライザー（3種類）
■ 音律	平均律（2種類）、純正律（長調/短調）、ピタゴラス音律、中全音律、
	ヴェルクマイスター第Ⅲ法、キルンベルガー第Ⅲ法
■ その他の機能	マスターボリューム、デュアル、デモ（メインデモ37曲、音色デモ24曲）リラックス（50曲）、
	コンサートマジック（88曲）、
	タッチカーブセレクト（6種類）、トランスポーズ、ブリリアンス、チューニング、ボイシング、
	ダンパーエフェクト、ストリングレゾナンス、メモリーバックアップ
	スピーカーON/OFFスイッチ
■ レコーダー	4ソング×2トラック、総記録容量　約15,000音
■ リズム/メトロノーム	1、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8拍子、100リズム
■ ペダル	ダンパー,（ソフト：オプションの2本ペダル接続時）
■ 外部端子	ヘッドホン（2系統）、ペダル、MIDI（IN、OUT）、USB端子、
	LINE OUT（L/MONO、R）、LINE IN（ステレオミニ）
■ 出　力	13W×2
■ スピーカー	5cmフルレンジ×6（バスレフ型　エンクロージャー装備）
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	30W
■ 寸　法	（W×D×H）： 136.2×32.1×13.8（cm）
■ 重　量	本体のみ20.7Kg

4）別売品のご紹介

◆固定式専用スタンド〈HM-3〉
12,600円（税込）

本体をしっかりと固定できる据え置き型の専用スタンドです。

ホワイトシルバータイプ：HM-3W
グロスブラックタイプ：HM-3B

◆スタンド〈EST-90〉
9,450円（税込）

手元のレバーで簡単に高さ調整が可能なX型スタンドです。

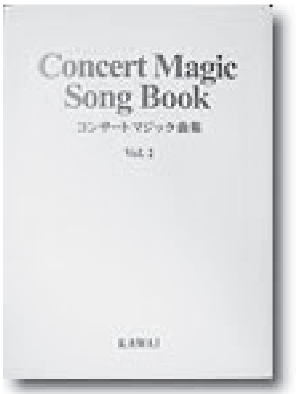
◆ダストカバー〈KDC-2〉
2,625円（税込）

譜面立てを付けたまま本体を覆えるダストカバーです。

◆Pfunピアノ曲集
1,600円（税込）

曲データ付き楽譜です。コンピュータを使って本機に追加することにより、Pfunピアノ曲として楽しむことができます。

◆コンサートマジック曲集 Vol. 2
2,600円（税込）



全88曲掲載しています。バインダー形式なので、見やすくて取り扱いも大変便利です。

◆イス〈WB-6〉
6,300円（税込）

高さを48、51、54cmの3段階に調整できます。

◆2本ペダル〈F-20〉
8,400円（税込）

ダンパーペダルとソフトペダルにより、よりピアノらしい演奏を可能にします。（ハーフダンパー対応）

◆ヘッドホン〈SH-2〉
3,675円（税込）

◆ヘッドホン〈SH-5〉
5,775円（税込）

●仕様および外観、価格は改良のため予告なく変更させていただく場合があります。
●お問い合わせ先：株式会社 河合楽器製作所　電子楽器事業部
TEL. 053（457）1277　FAX. 053（457）1279

5）故障かな？と思ったら

電源が入らない（パネルのLEDが点灯しない）

→ 電源ケーブルが本体とACアダプターにしっかり差し込んであるか確認する。（P9）

鍵盤を弾いても音が出ない

→ MASTER VOLUME（マスターボリューム）が下がっていないか確認する。（P9）

ヘッドホンを抜いたのに（差してないのに）スピーカーから音が出ない

→ スピーカーのスイッチがoffになってないか確認する（P9）

スピーカーから異音が出る

→ 本体の下に紙や薄い布がないか確認する。（P9）

症状が改善されない場合や、その他ご不明な点がございましたら、下記までご連絡いただきますようお願い致します。

［お問い合わせ先について］

◆ご不明な点がございましたら、下記お客様相談室をご利用ください。

お客様相談室
Tel ： 053-457-1311　　E-mail ： customer@kawai.co.jp
電話受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00（日土曜、祝日及び弊社規定の休日を除きます）

お客様サポート・お問い合わせフォーム
http://www.kawai.co.jp/の「お客様サポート」よりお進みください。

◆故障と思われる場合については、お買い求めいただいた販売店、またはお近くのカワイ・テクノ・センターまでご連絡ください。

※詳細は同梱の「アフターサービスと音楽教室のご案内」の冊子をご参照ください。

6）MIDIインプリメンテーションチャート

◇ KAWAI［Model es1］MIDI IMPLEMENTATION CHART

Date : APRIL, 2005
Version : 1. 0

ファンクション		送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1～16	1 1～16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × *******	モード1 モード1, 3 * ×	オムニ･オン、チャンネル1 *オムニ･オフ、チャンネル1～16に設定可能
ノート ナンバー	音域	9～120 ** *******	0～127 0～127	**トランスポーズを含む
ベロシティ	ノート･オン ノート･オフ	○ 9nH v=1～127 × 8nH v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ･ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0, 32 7 10 11 64 67	○ × × × ○ ○ *2	○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト *1 ボリューム パンポット エクスプレッション ダンパーペダル ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○	○	*1
エクスクルーシブ		○	○	
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
リアル タイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンシング リセット	× × ○ ×	○ ○ ○ ×	
備考		*1 プログラムチェンジ対応表参照 *2 F-20（オプションの2本ペダル）接続時		

モード1：オムニオン、ポリ　モード2：オムニオン、モノ
モード3：オムニオフ、ポリ　モード4：オムニオフ、モノ

○：あり
×：なし

付録

KAWAI
株式会社 河合楽器製作所
楽 器 事 業 本 部
電子楽器事業部
〒430-8665　浜松市寺島町200番地
TEL.<053>457-1277 / FAX.<053>457-1279
http://www.kawai.co.jp/

Ⓒ 2005（株）河合楽器製作所
本取扱説明書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。
2005年9月発行

814977
KPSZ-0104
Printed in Indonesia